

KENWOOD

MP3/WMA/AAC対応CDレシーバー

I-K77

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド

Kenwood Corporation



目次

- 6 はじめに
 - 6 安全上のご注意
 - 8 時計と日付を調整しよう
 - 10 本書の読みかた
 - 11 本機でできること
 - 12 ご使用の前に

14 まずはここから覚えてください

- 14 各部の名称とはたらき
- 16 共通の操作を覚えよう
 - 16 電源を入れてみよう
 - 16 音源を切り替えよう
 - 16 音量を調整しよう
 - 17 メニュー画面を操作しよう
- 18 お好みの音源を聴いてみよう
 - 18 ディスクを聴くには
 - 18 ラジオを聴くには
 - 19 USB機器を聴くには
 - 19 iPodを聴くには
 - 20 外部接続機器を聴くには

21 ディスクやオーディオファイルを聴く

- 21 本機で使えるメディアとオーディオファイル
 - 21 USB機器を聴くときは
- 22 ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示
- 22 ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン
- 23 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 23 リピート・スキャン・ランダム再生をする
 - 24 聴きたい曲を探す（ミュージックサーチ）
 - 25 すばやくスクロールして曲を探す（スキップサーチ）

26 iPodを聴く

- 26 iPodについて
- 27 iPod再生中の画面表示
- 27 iPod再生中に使うボタン
- 28 いろいろな機能を使って再生しよう
 - 28 iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える
 - 28 リピート・ランダム再生をする
 - 29 リストから曲を探す
 - 30 サーチモードで聴きたい曲を探す
 - 30 ジャンルと文字を選択して曲を探す（ダイレクトサーチ）
 - 31 文字を入力して曲を探す（アルファベットサーチ）
 - 31 関連する曲を探す
 - 32 すばやくスクロールして曲を探す（スキップサーチ）
 - 32 My Playlistを利用する

34 ラジオを聴く

- 34 ラジオ受信中の画面表示
- 34 交通情報を聴く
- 35 ラジオを聴く
 - 35 受信バンドを選択する
 - 35 聴きたい放送局を自動で探す
 - 35 放送局を手動登録する
 - 35 放送局を自動登録する（オートメモリー）
 - 36 登録した放送局を呼び出す

37 よく使う機能をワンタッチで呼び出す（FAVORITEコントロール）

- 37 FAVORITE機能を利用する
 - 37 お気に入りを登録する
 - 38 登録した操作を呼び出す
 - 38 お気に入りを削除する

39 Bluetoothオーディオの操作をする

- 39 「KCA-BT200」で使えるBluetoothオーディオ機器
- 39 使用を始める前に
- 39 Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン

40 ハンズフリー通話の操作をする

- 40 「KCA-BT200」で使える携帯電話
- 40 使用を始める前に
- 41 Bluetooth機器を登録する
- 41 本機から登録する（ペアリング）
- 42 携帯電話から登録する（ペアリング）
- 42 携帯電話を利用する
- 42 電話をかける
- 42 電話番号を入力して電話をかける
- 43 登録した番号に電話をかける
- 43 電話帳を利用する
- 44 履歴から電話をかける
- 45 音声で電話をかける
- 45 電話帳のカテゴリ表示について
- 45 電話を受ける
- 45 通話を終了する
- 46 いろいろな操作

47 テレビの操作をする

- 47 本機からテレビの操作をする
- 47 観たい放送局を探す
- 47 放送局を手動登録する
- 47 登録した放送局を呼び出す

48 本機の設定をする

- 48 ディスプレイの表示を設定しよう
- 50 全体の表示タイプを切り替える
- 50 左側の表示タイプを切り替える
- 51 項目名の表示を切り替える

- 51 スペアナの表示タイプを切り替える
- 52 ステータス表示を切り替える
- 52 イルミネーション色を設定する
- 53 イルミネーション色を調整する
- 54 お好みの音質に設定しよう（オーディオコントロール）**
- 57 イコライザーカーブを調整する
- 57 タイムアライメントの設定
- 58 クロスオーバーの設定をする
- 59 DSP設定を登録する
- 60 DSP設定を呼び出す
- 60 音源ごとに設定を変更しよう**
- 62 Bluetoothの設定を変更しよう**
- 64 接続するBluetooth機器を選択する
- 64 ショートメッセージ（SMS）をダウンロードする
- 65 ショートメッセージサービス（SMS）を利用する
- 65 電話帳にボイスタグを設定する
- 66 カテゴリのボイスタグを設定する
- 67 特殊なBluetooth機器を登録する
- 67 Bluetooth機器の登録を削除する
- 68 PINコードを登録する
- 68 初期設定を変更しよう**

70 リモコンを操作する

73 こんなときは

- 73 本機を盗難から守るために
- 74 困ったときに
- 80 本機を取り付けるときは
- 86 仕様
- 87 用語集
- 87 商標について
- 88 保証とアフターサービス（必ずお読みください）

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例



注意

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



禁止

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



実施

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

警告



実施

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
 - ・カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入やUSB機器の接続・取り出しなど）



警告



実施

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。
- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ・ 音が出ない
- ・ ディスプレイが表示されない
- ・ 異物が入った
- ・ 水がかかった
- ・ 煙が出る
- ・ 変な匂いがする



- 修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

- 本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

注意



注意

- ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。



禁止

- 本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをすることがあります。



実施

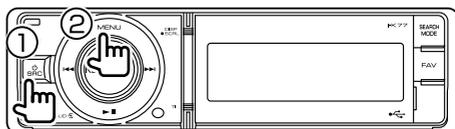
- 本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

時計と日付を調整しよう

本機をご使用になる前に、時計と日付を調整しましょう。

1

- ① **SRC** を押して電源を入れ、
- ② **MENU** を押す
メニュー画面が表示されます。



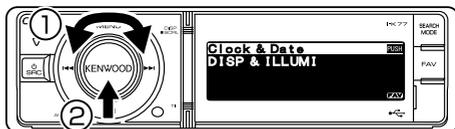
2

- ① ボリュームノブを回して **Settings** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



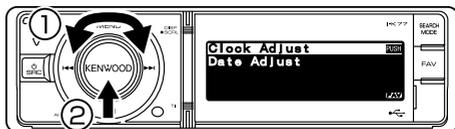
3

- ① ボリュームノブを回して **Clock & Date** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



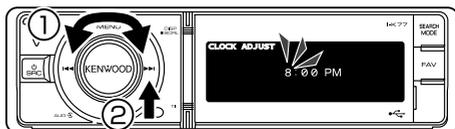
4

- ① ボリュームノブを回して **Clock Adjust** を選択し、
- ② ボリュームノブを押す



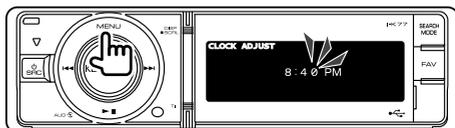
5

- ① ボリュームノブを回して「時」を調整し、
- ② **▶▶** を押す
※時計は 12 時間制で表示されます。



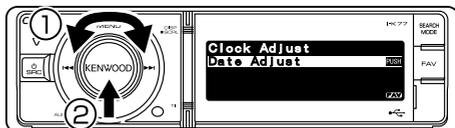
6

手順5と同様の手順で「分」を調整し、**MENU** を押す



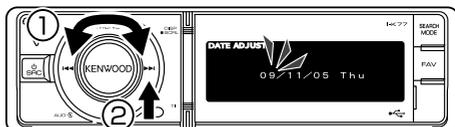
7

① ボリュームノブを回して **Date Adjust** を選択し、
② ボリュームノブを押す



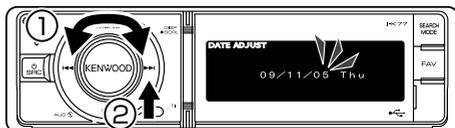
8

① ボリュームノブを回して「年」を調整し、
② **▶▶** を押す
※年は西暦で表示されます。



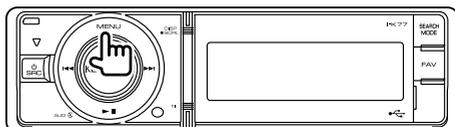
9

手順8と同様の手順で「月」、
「日」を調整する
時計と日付が調整されました。



10

MENU を1秒以上押して
メニュー画面に戻り、再度
MENU を押して終了する



本書の読みかた

この取扱説明書には、以下のようなイラストや表示が使用されています。
ここでは、それぞれの表示の意味をご紹介します。

「その操作でできること」をタイトルとして記載しています。目的の機能を探す目印としてお使いください。

対象ページ内で説明されている操作に必要なボタンを示しています。操作するボタンの位置確認にお役立てください。

ラジオを聴く

ボリウムノブ
以下のように操作します。
例) **List & Memory** を選択する
→ボリウムノブを回して**List & Memory**
を選択し、ボリウムノブを押して決定する。

受信バンドを選択する
FM、AMの受信バンドを選択します。

1 **SEARCH MODE** を押す
押すごとに受信バンドが切り替わります。

聴きたい放送局を自動で探す

1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.35)をご覧ください。

2 **▶▶▶** または **◀◀◀** を押す
受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

♪ こんどきは…

- ・手動で周波数を合わせたい
→ P.60を参照して、「Seek Mode」を「Manual」に設定し、**▶▶▶** または **◀◀◀** を押して周波数を合わせる。

MEMO

- ・付属のリモコンを使えば、周波数を入力して直接聴きたい放送局を受信することができます。詳しくは「**リモコンを操作する**」(P.70)をご覧ください。

放送局を手動登録する

受信している放送局を放送局リストに登録できます。リストに登録すると、簡単に呼び出すことができます。

1 お好みの放送局を受信する

2 **MENU** を押す

3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。

4 登録する番号を選択して、ボリウムノブを2秒以上押す
選択したリスト番号に、受信中の放送局が登録されます。

MEMO

- ・登録済みのリスト番号には上書きで登録されます。

放送局を自動登録する (オートメモリー)

放送局を自動的に放送局リストに登録します。

1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.35)をご覧ください。
▶次ページへつづく

ラジオを聴く

枠で囲んだ文字は、ディスプレイに表示される文字を表しています。

MEMO 章の内容を表しています。

1677 35

関連する機能・操作を紹介しています。

操作に必要な条件やできないことなどの、補足情報を記載しています。

MEMO

- ・本書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は、操作説明を円滑に行うための例です。そのため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

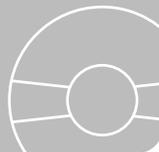
本機でできること

I-K77でできることをご紹介します。
各機能の詳しい操作内容は参照先ページをご覧ください。

ディスクを聴く

- CDはもちろん、MP3、WMA、AACの入ったCD-R/CD-RW/CD-ROMも聴ける！(P.21)

※本書では、MP3、WMA、AACをまとめて「オーディオファイル」と表記しています。



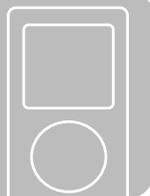
ラジオを聴く

- よく聴く放送局を登録できる！(P.35)
- ワンタッチで放送局を呼び出せる！(P.36)



iPodを聴く

- iPod、iPhoneの音楽を聴ける！(P.19)
- たくさんの曲から、聴きたい曲をすぐに見つける！(P.30)



USB機器をつなぐ

- お手持ちのUSB機器に入っている音楽を聴ける！(P.19)
- 大量の曲も簡単に管理できる！(P.21)



ポータブルオーディオなどをつなぐ

- お手持ちのデジタルオーディオプレーヤーとつないで再生できる！(P.20)

※別売品のミニプラグケーブル(φ3.5)(推奨品「CA-08MP」)が必要です。



ご使用の前に

本機を使用していただくうえで、知っておいていただきたいことです。

表示できる文字について

本機で表示できる文字は、シフトJISです。

本機に接続できるシステムについて

- 本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種名はカタログをご覧ください。
- 「O-Nスイッチ」の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは「N」側に設定してください。
- 接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。
- 別売品のCD/MDスイッチングユニット「KCA-S220A」を使用すると、ディスクチェンジャーなどを合計2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「配線をしましょう」(P.82) および、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。
- 本機およびKCA-S220Aには1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

使用できるリモコンについて

本機にはリモコン (RC-405J) が同梱されています。別売品で使用できるリモコンについては、カタログをご覧ください。購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。

スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。

また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外の音源に切り替えてください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。

本機内部が60℃を超える高温になると、保護回路が動作してディスクの演奏ができなくなります。

このようなときは、車内の温度を下げると、保護回路が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタン (P.76) を押してください。

結露について

寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。

このようなときは、ディスクを取り出して約1時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

お気をつけください

- USB機器、iPodを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器、iPodが変形や故障する場合があります。
- 以下のディスクは使用しないでください。

特殊な形状のディスク

円形以外のディスクは、故障の原因になります。



記録面（レーベル面の裏）に着色や汚れがあるディスク

引き込まれない、取り出せないなどの誤動作の原因になります。記録面には触れないようにお取り扱いください。



マークのないディスク

正しく再生されない可能性があります。

ファイナライズ処理していないCD-R、CD-RW

お使いのCD-R/CD-RWライティングソフト、CD-R/CD-RWレコーダーの取扱説明書を参照して、記録を行った機器以外のプレーヤーでも再生できるようにするための処理（ファイナライズ処理）

を行ってください。

ただし、CD-R/CD-RWはファイナライズ処理をしても、記録状態によって再生できない場合があります。

汚れ、傷、ゴミのついたディスク、反りのあるディスク

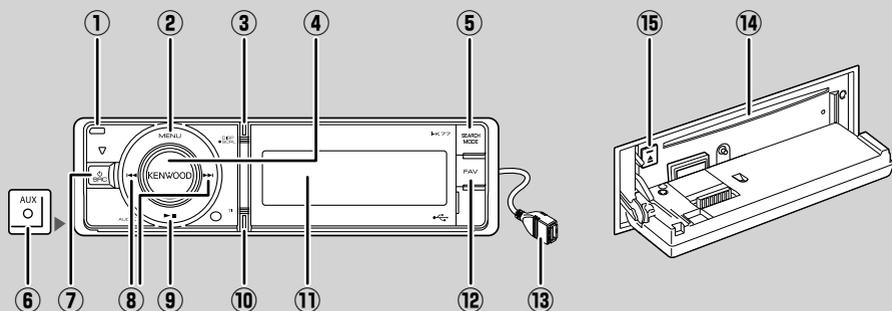
音飛びなどの誤動作や音質劣化の原因になることがあります。

表面に紙テープなどが貼られたディスク、ラベルのノリがはみ出したディスク

ディスクが取り出せなくなったり、本機が故障することがあります。

- ディスクが汚れたときは、従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
- 本機からディスクを取り出すときは、ディスクを下側に強く押さず、水平方向に引き出してください。ディスクを下側に押すと、記録面に傷を付ける原因となります。
- 新しいディスクを使うときは、ディスクのセンターホールおよび外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、ディスクが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。
- 音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリ（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は使用しないでください。故障の原因となります。
- 8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。

各部の名称とはたらき



■各ボタンの機能

番号	名称	動作
①	リリースボタン	押すと操作パネルが倒れ、ディスクの出し入れができます。(P.18)
②	メニューボタン MENU	<ul style="list-style-type: none"> 曲の選択や各機能の設定を行います。(P.17) 設定操作中、1つ前の項目に戻ります。(P.17) 1秒以上押すと、第1階層まで戻ります。(P.17) オーディオファイル選択時は、1つ上のフォルダに戻ります。
③	ディスプレイボタン DISP ■ SCRL	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイの表示を切り替えます。(P.48) リストのページスクロールを行います。(P.25、P.32)
④	ボリュームノブ	<ul style="list-style-type: none"> 左右に回して、音量を調節します。(P.16) 設定操作時に、左右に回して項目を選択し、押してその項目の設定を決定します。(P.17) CDやオーディオファイルの検索中に押して、選択した曲やフォルダを決定します。(P.24)
⑤	サーチボタン SEARCH MODE	<ul style="list-style-type: none"> ラジオ受信時に、バンドを選択します。(P.35) iPod再生時に、曲を検索します。(P.30) オーディオファイル再生時に、次のフォルダに進めます。(P.22)
⑥	AUX端子(背面)	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。(P.20)
⑦	ソースボタン SRC	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源をオンします。1秒以上押すと、本機の電源をオフします。(P.16) ラジオやCDなどの音源を切り替えます。(P.16)
⑧	シークボタン ▶▶ ◀◀	<ul style="list-style-type: none"> 設定操作時に、設定値を切り替えます。(P.48) ラジオの周波数を切り替えます。(P.35) ◀◀ を1回押すと、再生中の曲を先頭から再生します。2回押すと、1つ前の曲を再生します。 ▶▶ を押すと、1つ後の曲を再生します。 押し続けると、早戻し/早送りします。

各部の名称とはたらき

番号	名称	動作
⑨	再生／一時停止ボタン 	<ul style="list-style-type: none"> CDやオーディオファイル、iPodの再生／一時停止をします。 2秒以上押すと、USB機器やiPodの取り外しモードになります。(P.19)
⑩	交通情報ボタン 	<ul style="list-style-type: none"> 交通情報を受信します。(P.34) リストのページスクロールを行います。(P.25、P.32) 1秒以上押すと、Bluetoothモードになります。* (P.41)
⑪	ディスプレイ	時計や再生中の曲の情報など、本機の動作内容を表示します。
⑫	お気に入りボタン 	お気に入りの項目の登録と、登録した項目を呼び出します。(P.37、P.38)
⑬	USB端子	USB機器／iPodを接続します。(P.19)
⑭	ディスク挿入口	ディスクの差込口です。(P.18)
⑮	イジェクトボタン 	ディスクを取り出します。(P.18)

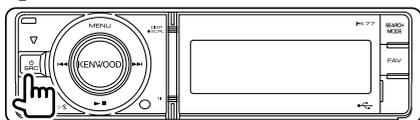
※ 別売品の「KCA-BT200」接続時に操作できます。

共通の操作を覚えよう

電源を入れてみよう

まずは本機の電源を入れてみましょう。

1 SRC を押す



本機の電源がオンになります。

SRC を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

AUX : 内部AUX

AUX EXT : 外部AUX (別売品)

3 ボリュームノブを押す

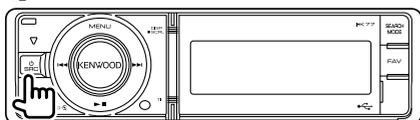
選択した音源の再生が始まります。

MEMO

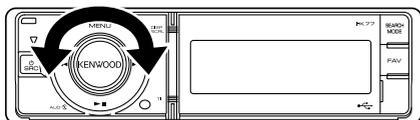
- ・「Initial Settings」(P.68) で「SRC Select」を「2」に設定している場合は、**SRC** を押すたびに音源が切り替わります。その場合は、聴きたい音源が表示されるまで **SRC** を押すと、自動的に音源が切り替わります。
- ・iPodの接続が認識されると、画面の表示は「USB」から「iPod」に変わります。
- ・外部プレーヤーを選択時は次のように表示されます。
 - ・CD CHANGER: ディスクチェンジャー
 - ・EXTRA: KCA-iP501 (別売品) で接続したiPod
 - ・HDD EXT: HDX-710などの音楽ファイル (KSF)
- ・LX-BUS接続したテレビでは、USB (iPod) 音源はCDとして認識され、表示や音声案内もCDとして扱われます。

音源を切り替えよう

1 SRC を押す



2 聴きたい音源が表示されるまでボリュームノブを回す



ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

STANDBY : 何も再生していない状態

TUNER : ラジオ

USB : USB機器

iPod : iPod、iPhone

CD : ディスク

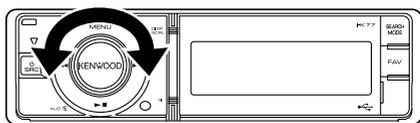
TV : LX-BUS接続したテレビ(別売品)

CD CHANGER など: ディスクチェンジャーなどの外部プレーヤー (別売品)

音量を調整しよう

1 オーディオ再生中にボリュームノブを回す

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

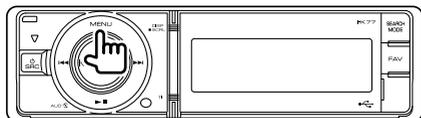


メニュー画面を操作しよう

本機では、音源ごとの設定をメニュー画面から行います。ここでは、メニュー画面とリスト画面の操作方法について説明します。

1 MENU を押す

メニュー画面が表示されます。



MEMO

- 選択している音源により、設定できる項目は異なります。

2 ボリュームノブを回して項目を選択する

選択している項目が移動します。

例：CDの設定画面



3 ボリュームノブを押して、選択した項目を決定する



MEMO

- メニュー画面以外のリスト画面でも、選択・決定の操作方法は同様です。

- 1つ前の階層に戻るときは、**MENU** を押します。
MENU を1秒以上押すと、メニュー画面(第1階層)に戻ります。
- **PUSH** アイコンが表示されている項目は、選択して次の階層に進むことができます。
PUSH アイコンが表示されていない項目には次の階層がありません。この場合は、**▶▶** または **◀◀** を押して設定を変更します。
- **X** アイコンが表示されている項目は、設定できません。

お好みの音源を聴いてみよう

本機で聴けるそれぞれの音源の基本操作について説明します。

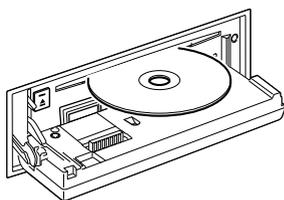
ディスクを聴くには

ディスクを挿入する

1 リリースボタンを押して操作パネルを開く

2 ディスク挿入口にディスクを水平に差し込む

差し込んだディスクが再生されます。

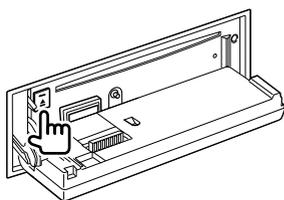


3 操作パネルを閉じる

ディスクを取り出す

1 リリースボタンを押して操作パネルを開く

2  を押す



MEMO

- 8cmディスクを取り出した後は、ディスク挿入口に放置せず、速やかにケースなどに保管してください。放置しておくと、振動などにより落下する場合があります。

● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.23
- すでに本機に入っているディスクを再生したい →  を押してボリュームノブを回し、 を選択する。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.21

MEMO

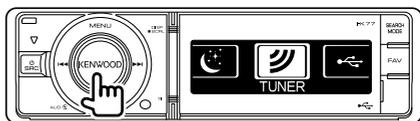
- 開いている操作パネルには無理な力をかけないでください。
- 操作パネルを開いたまま長時間使用しないでください。
- 操作パネルは必ず閉めてご使用ください。

ラジオを聴くには

1  を押す

2 ボリュームノブを回し、 を選択する

ボリュームノブを押すと、ラジオが受信されます。



● こんなときは… ●

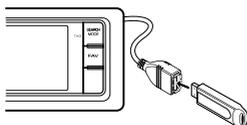
- バンドを変えたい → P.35
- 聴きたい放送局を探す → P.35

USB機器を聴くには

USB機器を接続する

1 USB機器を、奥まで確実にUSB端子に差し込む

USB機器内のオーディオファイルが再生されます。



MEMO

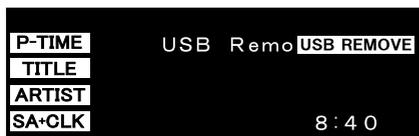
- USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX (別売品) の使用を推奨します。

● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.23
- すでに接続されているUSB機器を再生したい → [SRC] を押してボリュームノブを回し、[USB] を選択する。
- 再生できるオーディオファイルの種類を知りたい → P.21

USB機器を取り外す

1 ディ스플레이に [USB REMOVE] とインジケータが点滅するまで、▶|| を2秒以上押す



2 USB機器を取り外す

MEMO

- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。(本機の電源オン時のみ)

- この操作を行わずにUSB機器を取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。

iPodを聴くには

iPodを接続する

1 付属のiPod接続ケーブルでお手持ちのiPodを奥まで確実にUSB端子に差し込む

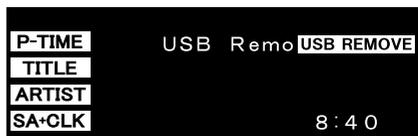
iPod内のオーディオファイルが再生されます。

● こんなときは… ●

- 再生機能を変えたい → P.28
- すでに接続されているiPodを再生したい → [SRC] を押してボリュームノブを回し、[iPod] を選択する。
- iPod内の曲を選びたい → P.29

iPodを取り外す

1 ディ스플레이に [USB REMOVE] とインジケータが点滅するまで、▶|| を2秒以上押す



2 iPodを取り外す

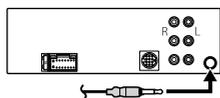
MEMO

- iPod接続中は、iPodが充電されます。(本機の電源オン時のみ)
- この操作を行わずにiPodを取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。

外部接続機器を聴くには

別売の「CA-08MP」が必要です。

- 1 AUX端子に「CA-08MP」を差し込む



- 2 ケーブルをお手持ちの外部機器のヘッドホン端子に接続する

- 3 **[SRC]** を押してボリュームノブを回し、**[AUX]** を選択する

- 4 外部機器を再生する
外部機器が本機から再生されます。

● こんなときは… ●

- すでに接続されている外部機器を聴きたい → **[SRC]** を押してボリュームノブを回し、**[AUX]** を選択する。

MEMO

- 内部AUX音源に切り替えるには、「Initial Settings」(P.68) の “Built in AUX” 項目を “ON” に設定している必要があります。
- 外部AUX (AUX EXT) を使用するためには、別売品のKCA-S220A、CA-C1AXまたはCA-C2AXが必要です。
- “AUX” 表示やKCA-S220Aを使用した “AUX EXT” 表示は変えることができません。(P.61)



ディスクやオーディオファイルを聴く

本機で使えるメディアとオーディオファイル

本機で利用できるメディアやオーディオファイルの種類、使用できる接続機器は以下のとおりです。

ディスク種類	CD-R、CD-RW、CD-ROM
ディスクフォーマット	ISO 9660 Level 1/2、Joliet、Romeo、Long file name
オーディオファイル	AAC-LC (.m4a)、MP3 (.mp3)、WMA (.wma)
USB機器	USBマストレージクラス
USB機器ファイルフォーマット	FAT16、FAT32

(2009年11月現在)

MEMO

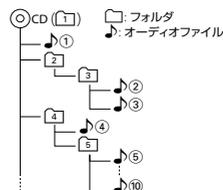
- ・上記の規格に準拠したオーディオファイルであっても、メディアおよび機器の種類やコンディションによっては、正常に再生されない場合があります。
- ・オーディオファイルは、あらかじめバックアップを行ってください。USB機器の使用状況によっては保存内容が失われる場合があります。保存データが失われたことによる損害については、当社はその補償を一切いたしませんのでご了承ください。
- ・オーディオファイルに関するオンラインマニュアルを、www.kenwood.com/audiofile/で公開しています。

USB機器を聴くときは

以下のお知らせをよく読んでからご使用ください。

オーディオファイルの再生順序

右図の例では、①から⑩の順で再生されます。思ったおりの順番で再生されない場合は、KENWOOD Music Editor Lite ver 1.0 (下記) を使用してデータベースを作成することをお薦めします。



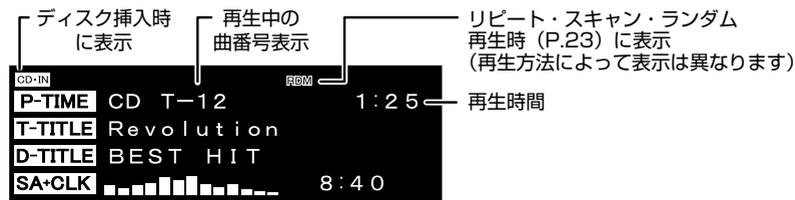
KENWOOD Music Editorについて

KENWOOD Music Editorとは、USB機器に入っている曲の選択操作を便利にするためのPCアプリケーションです。本機は、“KENWOOD Music Editor Lite ver 1.0”に対応しています。“KENWOOD Music Editor Lite ver 1.0”を使用すると、オーディオファイルにデータベースを付加することで、タイトル・アルバム名・アーティスト名などでの検索が可能になります。“KENWOOD Music Editor Lite ver 1.0”は、www.kenwood.co.jp/faq/からダウンロードできます。

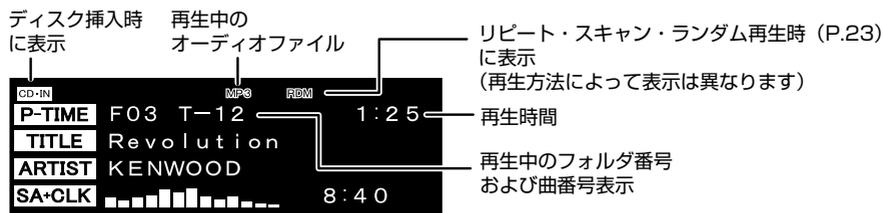
アプリケーションの詳しい情報は、サイトまたはアプリケーションのヘルプをご覧ください。

ディスク・オーディオファイル再生中の画面表示

CD・オーディオファイル再生中の画面表示について説明します。



※画面例は初期表示状態のものです。



※画面例は初期表示状態のものです。

MEMO

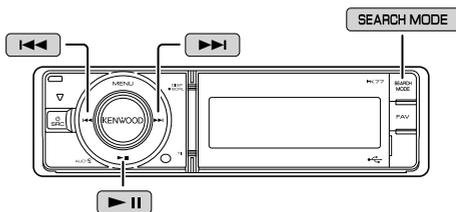
- DISP・SCRL を押すごとに、ディスプレイの表示を時計表示などに変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48) をご覧ください。

ディスク・オーディオファイルの再生機能に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する → [PAUSE] を押す
- 一時停止から再生する → [PAUSE] を押す
- 早送りする → [SKIP FWD] を押し続ける
- 早戻しする → [SKIP REV] を押し続ける
- 曲の先頭に戻る → [SKIP REV] を押す
- 次の曲を聴く → [SKIP FWD] を押す
- 次のフォルダに進む → [SEARCH MODE] を押す
- 前の曲を聴く → [SKIP REV] を2回押す

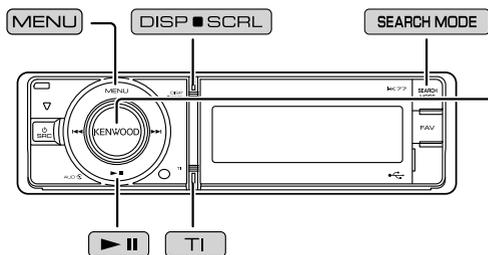


MEMO

- オーディオファイルでは、早送り／早戻し中には音声が出ません。
- KSF (別売品のHDX-710などの音楽ファイル) を再生中は、早送り／早戻しはできません。
- 音楽ファイルが入っていないフォルダは選択できません。



いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Play Mode** を選択する

→ボリュームノブを回して**Play Mode**を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

リピート・スキャン・ランダム再生をする

ディスク・フォルダ内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

また、スキャン再生を行うと、ディスク・フォルダ内の各曲を先頭から10秒間ずつ再生します。聴きたい曲を探すときに便利です。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **Play Mode** を選択する
- 3 設定項目を選択する
ボリュームノブを押すたびに、ON/OFFが切り替わります。

CDの場合

設定項目	機能
Track Scan (表示: SCAN)	各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Disc Random (表示: RDM)	ディスクの曲をランダムな順番で再生します。
Track Repeat (表示: T・REP)	再生中の曲を繰り返し再生します。

オーディオファイルの場合

設定項目	機能
File Scan (表示: SCAN)	フォルダの各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Folder Random (表示: Fo・RDM)	フォルダの曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat (表示: Fi・REP)	再生中の曲を繰り返し再生します。
Folder Repeat (表示: Fo・REP)	再生中のフォルダの曲を繰り返し再生します。

MEMO

- ・KENWOOD Music Editorを使用して作成したデータでは、Folder Repeatはできません。

KSF (別売品のHDX-710などの音楽ファイル) の場合

設定項目	機能
File Scan (表示: SCAN)	フォルダの各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Folder Random (表示: Fo・RDM)	フォルダの曲をランダムな順番で再生します。
Repeat (表示①: Fi・REP 表示②: Fo・REP)	ボリュームノブを押すごとに、①再生中ファイルの繰り返し→②再生中フォルダの繰り返し→繰り返し再生OFFが切り替わります。

▶次ページへつづく

ディスクチェンジャーの場合

設定項目	機能
Track Scan (表示: SCAN)	ディスクの各曲の最初の部分を10秒間ずつ再生します。
Disc Random (表示: RDM)	ディスクの曲をランダムな順番で再生します。
Magazine Random (表示: M・RDM)	ディスクチェンジャーのすべての曲をランダムな順番で再生します。
Track Repeat (表示: T・REP)	再生中の曲を繰り返し再生します。
Disc Repeat (表示: D・REP)	再生中のディスクを繰り返し再生します。

4 **MENU** を1秒以上押しメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押して終了する

MEMO

- Track Scan、File Scanですべての曲がスキャン再生されると、自動的に終了します。

♪ こんなときは…

- スキャン再生を中止する
→ **▶||** を押すか、手順1から4を繰り返して設定をOFFにする。
- ランダム再生を中止する
→ 手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→ 手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

聴きたい曲を探す (ミュージックサーチ)

曲をリスト表示にして探します。

MEMO

- 付属のリモコンを使えば、ファイル番号

またはトラック番号で直接聴きたい曲を再生することができます。詳しくは「リモコンを操作する」(P.70)をご覧ください。

- MENU** を押す
- Music** を選択する
- 以下の操作で聴きたい曲を選択する

CDの場合

トラックリストが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
トラック表示切り替え	ボリュームノブを回します。
トラック再生	トラック表示を切り替え、ボリュームノブを押します。
リストのページスクロール	DISP ■ SCRL または TI を押します。
リストの連続スクロール	DISP ■ SCRL または TI を1秒以上押します。 もう一度 DISP ■ SCRL または TI を押すと停止します。

オーディオファイルの場合

再生中のフォルダが表示されます。以下の操作で聴きたい曲を探します。

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	ボリュームノブを回します。
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	ボリュームノブを押します。
1つ上の階層に戻る	MENU を押します。



動作	操作
リストのページスクロール	DISP ■ SCRL または TI を押します。
リストの連続スクロール	DISP ■ SCRL または TI を1秒以上押します。 もう一度 DISP ■ SCRL または TI を押すと停止します。

♪ こんなときは…

- ・ミュージックサーチを中止する
→ **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押す。

MEMO

- ・KENWOOD Music Editor Lite ver1.0 を使用してオーディオファイルのデータベースを作成している場合は、タイトル・アルバム名・アーティスト名などのフォルダが表示されます。
- ・フォルダ名やファイル名の横に「▶」または「◀」が表示されている場合は、前後にもフォルダやファイルがあることを示しています。
- ・ファイル名が表示されているときは、ファイル名の最初に「♪」が表示されます。
- ・オーディオファイル再生中は、**SEARCH MODE** を押すと、フォルダを1つ先へ進めることができます。
- ・オーディオファイルで曲を検索すると、その曲のある階層が本機に記憶されます。曲を検索した後に本機の設定を行う場合、**MENU** を押すと記憶された階層が表示されてしまいますので、一度 **MENU** を1秒以上押して第1階層に移動してから設定を行ってください。

すばやくスクロールして曲を探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。

MEMO

- ・この操作は、KENWOOD Music Editor を使用して作成したデータを、USBで再生している場合のみ行えます。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **Music** を選択する
- 3 聴きたい曲のリストを選択する
- 4 **SEARCH MODE** を押す
- 5 **DISP ■ SCRL** または **TI** を押し
して聴きたい曲を探す

MEMO

- ・3秒以上 **DISP ■ SCRL** または **TI** を押し続けると、設定に関係なく10%の割合で曲をスキップして表示します。例えば選択したリスト内の曲が100曲の場合、10曲ずつスキップします。
- ・曲をスキップする割合は、**▶▶**、**◀◀** で変更できます。
- ・スキップの割合について詳しくは、「音源ごとに設定を変更しよう」(P.60)をご覧ください。

- 6 聴きたい曲を選択する
曲を選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

♪ こんなときは…

- ・サーチモードを中止する
→ **SEARCH MODE** を押す。

ディスクやオーディオファイルを聴く

iPodを聴く

iPodについて

付属のiPod接続ケーブルで接続します。音源選択の **[USB]** 表示は iPod 認識後に **[iPod]** となり、本機からの操作が可能になります。本書で断りの無い限り、「iPod」と呼んでいるのは付属のiPod接続ケーブルで接続されたiPodおよびiPhoneを指します。

本機から操作できるiPodは以下のとおりです。

Made for

- iPod nano (1st generation)
- iPod nano (2nd generation)
- iPod nano (3rd generation)
- iPod nano (4th generation)
- iPod nano (5th generation)
- iPod with video
- iPod classic
- iPod touch (1st generation)
- iPod touch (2nd generation)

Works with

- iPhone 3G
- iPhone 3GS



iPhone 3G
8GB 16GB



iPhone 3GS
16GB 32GB

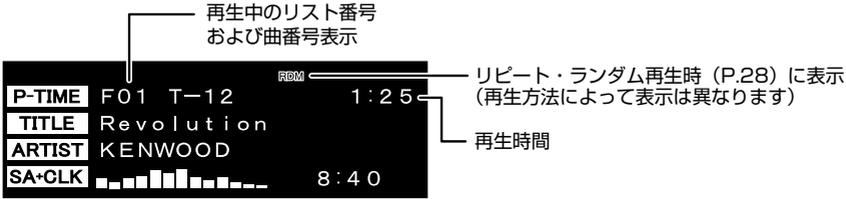
MEMO

- iPodを接続すると、本機での再生はiPodで再生していた曲から始まります。
- iPodに“KENWOOD”と表示されているときは、iPodの操作はできません。
- 接続しているiPodにより、使用できる機能が異なります。詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipodを参照してください。



iPod再生中の画面表示

iPod再生中の画面表示について説明します。



※画面例は初期表示状態のものです。

MEMO

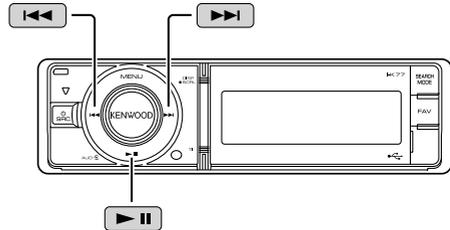
- **DISP ■ SCRL** を押すごとに、ディスプレイの表示をiPod風表示や時計表示などに変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48) をご覧ください。

iPod再生中に使うボタン

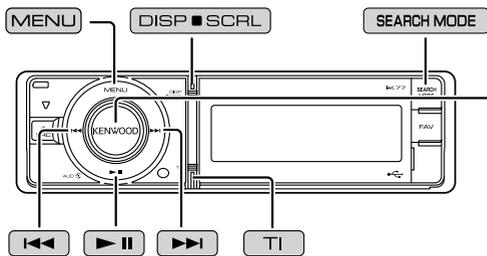
再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

曲の検索など通常再生以外に使用するボタンについては、次ページからの説明をご覧ください。

- 一時停止する → を押す
- 一時停止から再生する → を押す
- 早送りする → を押し続ける
- 早戻しする → を押し続ける
- 曲の先頭に戻る → を押す
- 次の曲を聴く → を押す
- 前の曲を聴く → を2回押す



いろいろな機能を使って再生しよう



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Play Mode** を選択する

→ボリュームノブを回して**Play Mode**を選択し、ボリュームノブを押しで決定する。

iPodの操作を本機またはiPod本体に切り替える

iPod接続中は、本機から操作できるモード(iPod by HandがOFFの状態)と、iPodから操作できるモード(iPod by HandがONの状態)のいずれかで操作します。モードを切り替えるには以下の手順を行います。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **Play Mode** を選択する
- 3 **iPod by Hand** を選択する
- 4 ボリュームノブを押して、ON/OFFを切り替える
- 5 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押しで終了する

MEMO

- 接続したiPodがiPod by Handに対応している場合のみ操作できます。対応していないiPodを接続した場合は、設定項目が表示されません。詳しくはwww.kenwood.com/cs/ce/ipod/を参照してください。

- iPod by HandをONにしているときは、本機からの操作はできません。
- iPod by HandのON時は、本機のディスプレイに“iPod by Hand Mode”と表示されます。

リピート・ランダム再生をする

iPod内の曲を繰り返し再生したり、順不同に再生します。

- 1 **MENU** を押す
- 2 **Play Mode** を選択する
- 3 設定項目を選択する
ボリュームノブを押すたびに、ON/OFFが切り替わります。

設定項目	機能
Folder Random (表示: Fo・RDM)	選択したリストの曲をランダムな順番で再生します。
All Random (表示: ALL RDM)	iPodの曲をランダムな順番で再生します。
File Repeat (表示: Fi・REP)	再生中の曲を繰り返し再生します。



- 4** **MENU** を1秒以上押し、メニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し、終了する

♪ **こんなときは…**

- ランダム再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。
- リピート再生を中止する
→手順1から4を繰り返し、設定をOFFにする。

📖 **MEMO**

- iPodの曲数によっては、全曲ランダムに切り替わるまでに時間がかかることがあります。
- All Random機能をONにすると、iPodのリスト項目が“Songs”に変更されます。All Random機能をOFFにしても“Songs”のままとなります。
- All Random機能がONのときに、リストから曲を変更すると、All Random機能はOFFになり、選択した項目内の全曲をランダム (Folder Random) に再生します。
- My Playlist (P.32) の曲を再生中は、ランダム再生はできません。

リストから曲を探す

リストから聴きたい曲を探します。(ミュージックサーチ)

- 1** **MENU** を押す

- 2** **Music** を選択する
以下の項目が表示されます。

表示	項目
Playlists	プレイリスト
Artists	アーティスト
Albums	アルバム
Songs	曲名やファイル名
Podcasts	ポッドキャスト

表示	項目
Genres	ジャンル
Composers	作曲家

- 3** 以下の操作で聴きたい項目を選択する

曲名を選択するまで同様の操作を繰り返します。

動作	操作
リストの切り替え	ボリュームノブを回します。
リスト選択または選択した曲の再生	ボリュームノブを押します。
1つ上の階層に戻る	MENU を押します。
リストのページスクロール	DISP または TI を押します。
リストの連続スクロール	DISP または TI を1秒以上押します。 もう一度 DISP または TI を押すと停止します。

選択した曲を含むリストが再生されます。

♪ **こんなときは…**

- ミュージックサーチを中止する
→**MENU** を1秒以上押し、メニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押す。

📖 **MEMO**

- サーチモードで曲を検索すると、その曲のある階層が本機に記憶されます。曲を検索した後に本機の設定を行う場合、**MENU** を押すと記憶された階層が表示されてしまいますので、一度 **MENU** を1秒以上押し、第1階層に移動してから設定を行ってください。

▶次ページへつづく

- 曲名が表示されているときは、曲名の最初に「♪」が表示されます。
- 曲名などで表示できない文字は“ ”（空白）が表示されます。ただし、すべての文字を表示できない場合は、選択したリスト名と数字で表示します。

表示	項目
"PLIST***"	プレイリスト
"ART***"	アーティスト
"ALB***"	アルバム
"PRGM***"	曲名やファイル名
"PDCT***"	ポッドキャスト
"GEN***"	ジャンル
"COM***"	作曲家

サーチモードで聴きたい曲を探す

探したい曲に最適な検索方法を、4種類のサーチモードから選択できます。

- SEARCH MODE** を押す
サーチモードの各機能は以下のとおりです。

通常表示中

設定項目	機能
Direct Search	聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して検索します。(P.30)
Related Search	再生中の曲に関連する曲を検索します。(P.31)
Recall My Playlist	プレイリストに登録した曲を呼び出します。(P.33)
Delete My Playlist	プレイリストに登録した曲を削除します。(P.33)

リスト項目表示中

設定項目	機能
Direct Search	聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して検索します。(P.30)
Alphabet Search	選択中のリスト項目から、アルファベット1文字で検索します。(P.31)
Skip Search	iPod内にたくさんの曲が保存されている場合に、リスト上で何曲か飛ばしながら曲を検索します。(P.32)
Register My P-list	プレイリストに登録して再生します。(P.32)

2 設定項目を選択する

以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

♪ こんなときは…

- サーチモードを中止する
→ **SEARCH MODE** を押す。

ジャンルと文字を選択して曲を探す (ダイレクトサーチ)

聴きたい曲のリスト項目と頭文字を指定して曲を検索します。

- SEARCH MODE** を押す
- Direct Search** を選択する
- 検索するリスト項目を選択する
ボリュームノブを回して、1列目のリスト項目を選択します。ボリュームノブを押すと次の列に進みます。



表示	項目
PLAYLISTS	 プレイリスト
ARTISTS	 アーティスト
ALBUMS	 アルバム
SONGS	 曲名やファイル名
PODCASTS	 ポッドキャスト
GENRES	 ジャンル
COMPOSERS	 作曲家

4 検索する頭文字を選択する

ボリュームノブを回して、2～4列目で聴きたい曲やアーティスト名の頭文字を3文字まで入力します。ボリュームノブを押すと次の列に進みます。

MEMO

- ▶ または ◀ を押すと列が前後に進みます。
- 入力できる文字は、A～Z、0～9、*です。A～Z、または0～9以外の文字で始まる曲を検索したいときは「*」を1文字目に入力します。「*」を入力すると、2～3文字目は入力できません。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。

5 [DONE] を選択する

検索が開始され、該当する曲のリストが表示されます。ここからは、「リストから曲を探す」(P.29)の手順3を参照して曲を選びます。

文字を入力して曲を探す (アルファベットサーチ)

選択中のリスト項目から、特定の文字を含む曲を検索します。

- [MENU] を押す
- [Music] を選択する
- 聴きたい曲のリストを選択する
- [SEARCH MODE] を押す
- [Alphabet Search] を選択する
- [DISP ■ SCRL] または [TI] でアルファベットを選択する
- リストから曲を選択する
曲を選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

MEMO

- iPodの曲数によっては、検索に時間がかかる場合があります。
- a/an/theのような冠詞や記号、スペースは検索対象となりません。それらで始まる場合は、その後に続く文字で探します。
- 「*」は記号を、「1」は数字を検索します。

関連する曲を探す

再生中の曲の情報をもとに、その曲に関連するアーティスト、アルバム、曲を検索します。

- [SEARCH MODE] を押す
- [Related Search] を選択する

▶次ページへつづく

3 検索する項目を選択する

表示	機能
Search Artist	現在再生している曲のアーティストのアルバムリストが表示されます。
Search Album	現在再生している曲が含まれるアルバム内の曲リストが表示されます。
Search Genre	現在再生している曲と同じジャンルのアーティストのリストが表示されます。
Search Composer	現在再生している曲と同じ作曲者の曲が含まれるアルバムリストが表示されます。

検索が開始され、該当するリストが表示されます。ここからは、「**リストから曲を探す**」(P.29)の手順3を参照して曲を選びます。

MEMO

- Podcasts再生中は使用できません。

すばやくスクロールして曲を探す (スキップサーチ)

選択しているリスト項目の曲数に応じて、すばやくスクロールして曲を検索します。

- MENU** を押す
- Music** を選択する
- 聴きたい曲のリストを選択する
- SEARCH MODE** を押す

5 **Skip Search** を選択する

6 **DISP ■ SCRL** または **TI** を押して聴きたい曲を探す

MEMO

- 3秒以上 **DISP ■ SCRL** または **TI** を押すと、設定に関係なく10%の割合で曲をスキップして表示します。例えば選択したリスト内の曲が100曲の場合、10曲ずつスキップします。
- 曲をスキップする割合は、**▶▶**、**◀◀** で変更できます。
- スキップの割合について詳しくは、「**音源ごとに設定を変更しよう**」(P.60)をご覧ください。

7 聴きたい曲を選択する

曲を選択するとサーチモードが解除され、再生が始まります。

My Playlistを利用する

お好みの曲を本機のMy Playlistに登録して再生することができます。登録できる曲数は最大10曲です。

MEMO

- この機能が利用できるiPodの種類は、www.kenwood.com/cs/ce/ipod/をご覧ください。

My Playlistに登録する

1 登録したい曲を再生中に **SEARCH MODE** を押す

2 **Register My P-list** を選択する 再生中の曲がMy Playlistに登録されます。

MEMO

- My Playlistは1台のiPodに入っている曲からのみ選択して作成します。
- ミュージックサーチ (P.29) 中に表示されている曲も、同様の操作で登録することができます。



- Podcastsは登録しないでください。意図していない曲が登録されてしまうなど、正しく登録・再生できない場合があります。
- 同じ曲を複数登録することもできます。
- My Playlistへの登録は、追加登録のみ可能です。リストの途中で登録することはできません。
- 登録したiPodとは異なるiPodを接続して登録操作をすると、“My Playlist Delete?”と表示されます。この後、**YES** を選ぶと、My Playlistが削除されます。

My Playlistを再生する

- 1** **SEARCH MODE** を押す
- 2** **Recall My Playlist** を選択する
- 3** 聴きたい曲を選択する
MYLISTインジケータが表示され、選択した曲の再生が始まります。

MEMO

- リスト内の最終曲の再生が終了すると1曲目の再生が始まり、My Playlist内で全曲再生を行います。
- ミュージックサーチを行うと、My Playlistモードは解除されます。
- ACCや電源をオフにする、または操作パネルを外すとMy Playlistモードは解除されます。

My Playlistから曲を削除する

- 1** **SEARCH MODE** を押す
- 2** **Delete My Playlist** を選択する
- 3** **Delete One** または **Delete All** を選択する

MEMO

- Delete One** を選ぶとリスト表示で選択した曲のみを削除します。**Delete All** を選択するとMy Playlistに登録されている曲をすべて削除します。

4 **YES** を選択する

My Playlistから曲が削除されます。

MEMO

- My Playlistの全曲削除は、iPodの設定の“Settings” – “Delete My Playlist”からも行えます。(P.60)

ラジオを聴く

ラジオ受信中の画面表示

ラジオ受信中の画面表示について説明します。



※画面例は初期表示状態のものです。

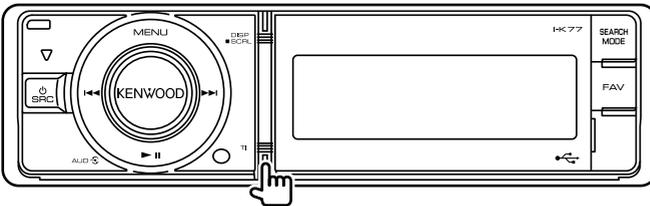
MEMO

- **DISP ■ SCRL** を押すごとに、ディスプレイの表示を周波数表示や時計表示などに変更することができます。詳しくは「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48)をご覧ください。
- 受信状態が悪いときなど、FMステレオ放送をモノラルで受信して雑音を軽減することができます。詳しくは「音源ごとに設定を変更しよう」-「Forced MONO」(P.60)をご覧ください。

交通情報を聴く

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

1 **TI** を押す



交通情報が受信されます。

もう一度 **TI** を押すと、交通情報の受信を中止して受信前の状態に戻ります。

♪ こんなときは…

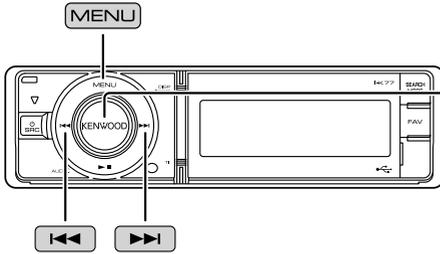
- 交通情報の受信周波数を切り替えたい
→ **▶▶** または **◀◀** を押して522kHz/1620kHz/1629kHzのいずれかに合わせる。

MEMO

- 交通情報の受信中にボリュームノブで音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聴くことができます。



ラジオを聴く



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **List & Memory** を選択する

→ボリュームノブを回して**List & Memory**を選択し、ボリュームノブを押し決定する。

受信バンドを選択する

FM、AMの受信バンドを選択します。

- 1 **SEARCH MODE** を押す
押すごとに受信バンドが切り替わります。

MEMO

- **MENU** を押しお好みのバンドを選択して受信することもできます。

聴きたい放送局を自動で探す

- 1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.35)をご覧ください。
- 2 **▶▶** または **◀◀** を押す
受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

♪こんなときは…

- 手で周波数を合わせたい
→ P.60を参照して、“Seek Mode”を“Manual”に設定し、**▶▶** または **◀◀** を押し周波数を合わせる。

MEMO

- 付属のリモコンを使えば、周波数を入力して直接聴きたい放送局を受信することができます。詳しくは「**リモコンを操作する**」(P.70)をご覧ください。

放送局を手動登録する

受信している放送局を放送局リストに登録できます。リストに登録すると、簡単に呼び出すことができます。

- 1 お好みの放送局を受信する
- 2 **MENU** を押す
- 3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4 登録する番号を選択して、ボリュームノブを2秒以上押す
選択したリスト番号に、受信中の放送局が登録されます。

MEMO

- 登録済みのリスト番号には上書きで登録されます。

放送局を自動登録する (オートメモリー)

放送局を自動的に放送局リストに登録します。

- 1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「**受信バンドを選択する**」(P.35)をご覧ください。

▶次ページへつづく



ラジオを聴く

- 2 **MENU** を押す
- 3 **Settings** を選択する
- 4 **Auto Memory** を選択する

- 5 **YES** を選択する
受信状態の良い放送局が、放送局リストに自動的に最大で6局分登録されます。

📖 MEMO

- ・バンドごとに、6局の放送局を登録することができます。手動登録とオートメモリーは、どちらか最後に登録したものが有効になります。

登録した放送局を呼び出す

放送局リストに登録した放送局を呼び出します。

- 1 聴きたいバンドを選択する
操作方法は「受信バンドを選択する」(P.35)をご覧ください。
- 2 **MENU** を選択する
- 3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4 聴きたい放送局の番号を選択する
選択した放送局が受信されます。

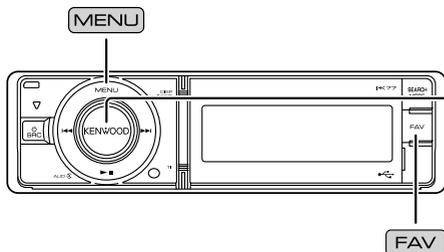
♪ こんなときは…

- ・登録された放送局を順に受信したい
→ P.60を参照して、“Seek Mode”を“Auto2”に設定すると、を押すごとに順に受信します。



よく使う機能をワンタッチで呼び出す (FAVORITEコントロール)

FAVORITE機能を利用する



ボリュームノブ
以下のように操作します。

例) [MUSIC]を選択する

→ボリュームノブを回して[MUSIC]を選択し、
ボリュームノブを押して決定する。

お気に入りを登録する

お気に入りの放送局やiPodのプレイリスト、アーティストなどを本機の [FAV] に登録できます。登録した項目は、選択している音源に関係なく、ダイレクトに呼び出すことができます。

お気に入りとして登録できる項目は以下のとおりです。

種類	項目
ラジオ	任意の周波数
iPod	プレイリスト、アーティストの一覧表示など
ハンズフリー*	電話番号
設定	オーディオ設定項目や、音源ごとの機能設定

* 別売品の「KCA-BT200」が必要です。

登録できる項目には、ディスプレイの右下に [FAV] と表示されます。

1 登録する項目を表示する

ディスプレイの右下に [FAV] と表示されます。

2 [FAV] を1秒以上押す

3 登録する番号を選択する

選択した項目が、お気に入りに登録されます。

♪ こんなときは…

- FAVORITEコントロールを中止する
→ [FAV] を押す。

MEMO

- 設定項目は、項目名が表示されているときに登録してください。設定操作中は登録できません。
- 登録済みの番号を選択すると上書きされます。
- 最大6項目を登録できます。
- お気に入り登録後にiPod内の曲の追加や削除を行うと、iPod内のリストが変更されるため、本機で登録したリストと異なることがあります。iPodの編集を行ったときには、お気に入りを登録しなおしてください。
- USB機器などのフォルダやファイルの選択は設定できません。
- 登録した項目は、リセットボタン (P.76) を押しても消去されません。

登録した操作を呼び出す

お気に入り登録した項目をワンタッチで呼び出します。

1 **FAV** を押す

2 呼び出す項目を選択する
選択した項目の画面が表示されます。

MEMO

- iPodの項目は、プレイリスト、アーティスト、アルバムなどのリスト選択画面が表示されます。曲は自動的に再生されません。
- 選択中の音源と異なる音源の設定項目は呼び出せない場合があります。

お気に入りを削除する

登録したお気に入りの項目を削除します。

1 音源をSTANDBYに設定する

2 **MENU** を押す

3 **Initial Settings** を選択する

4 **Favorite Delete** を選択する

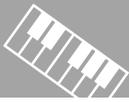
5 削除する項目を選択する
ディスプレイに **Delete?** と表示されます。

MEMO

- リストで **ALL** を選択すると、登録した項目すべてを削除します。

6 **Yes** を選択する
選択した項目がお気に入りから削除されます。

7 **MENU** を1秒以上押し続けてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し続けて終了する



Bluetoothオーディオの操作をする

「KCA-BT200」で使えるBluetoothオーディオ機器

別売品の「KCA-BT200」で使用できるBluetoothオーディオ機器の仕様は以下のとおりです。

対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver. 1.2準拠
対応プロファイル	A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)

MEMO

- ・ A2DPはオーディオ機器の音楽を伝送するためのプロファイルです。
- ・ AVRCPはオーディオ機器の再生や選曲などをコントロールするためのプロファイルです。

使用を始める前に

Bluetoothオーディオを使用するには、あらかじめ本機に登録しておく必要があります。詳しくは「Bluetooth機器を登録する」(P.41)をご覧ください。

複数のBluetoothオーディオ機器を登録している場合は、使用するBluetoothオーディオ機器を選択する必要があります。詳しくは「接続するBluetooth機器を選択する」(P.64)をご覧ください。

音源をBluetoothオーディオに切り替えるには、音源表示で **BT AUDIO EXT** を選択します。(P.16)

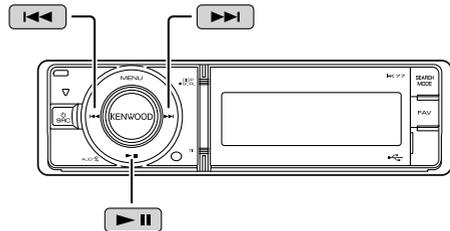
MEMO

- ・ リモートコントロール (AVRCP) に対応していないBluetoothオーディオ機器は操作できません。オーディオ機器側で操作してください。
- ・ 電源を切るなどBluetooth接続が切れたあと、リモートコントロールできない、または再接続できないオーディオ機器があります。オーディオ機器側でBluetooth接続の操作を行ってください。
- ・ オーディオコントロール (P.54) の “2Zone” が “ON” および “2Zone Select” が “Front” に設定されている場合は、Bluetoothオーディオを選択できません。

Bluetoothオーディオ再生中に使うボタン

再生・停止などの操作に使用するボタンについて説明します。

- 一時停止する →  を押す
- 一時停止から再生する →  を押す
- 曲の先頭に戻る →  を押す
- 次の曲を聴く →  を押す
- 前の曲を聴く →  を2回押す





ハンズフリー通話の操作をする

「KCA-BT200」で使える携帯電話

別売品の「KCA-BT200」で使用できるBluetooth対応携帯電話の仕様は以下のとおりです。

対応バージョン	Bluetooth標準規格Ver.1.2準拠
対応プロファイル	HFP (Hands Free Profile) OPP (Object Push Profile) PBAP (Phone Book Access Profile) SYNC (Synchronization Profile)

互換性を確認した携帯電話機については、下記URLをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>

MEMO

- Bluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることの認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては通信できない場合があります。
- HFPはハンズフリー通話をかけるためのプロファイルです。
- OPPは機器間で電話帳などのデータを転送するためのプロファイルです。

使用を始める前に

Bluetooth対応携帯電話を使用して本機でハンズフリー操作を行うには、あらかじめ本機に携帯電話を登録しておく必要があります。詳しくは「Bluetooth機器を登録する」(P.41)をご覧ください。

複数のBluetooth対応携帯電話を登録している場合は、使用する携帯電話を選択する必要があります。詳しくは「接続するBluetooth機器を選択する」(P.64)をご覧ください。

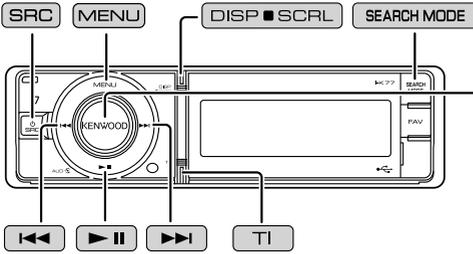
電話帳を利用するには、あらかじめ本機に電話帳をダウンロードする必要があります。詳しくは「電話帳をダウンロードする」(P.43)をご覧ください。

MEMO

- 通話中にCDを挿入する、USBを接続するなど音源を切り替えると通話が切れます。
- 携帯電話が本機に接続されているときは、“BT”インジケーターが点灯します。



Bluetooth機器を登録する



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Settings** を選択する

→ボリュームノブを回して**Settings** を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

本機から登録する (ペアリング)

ここでは、本機から操作してBluetooth機器を登録する方法を説明します。

- 1 **TI** を1秒以上押す
- 2 **BT Settings** を選択する
- 3 **Detailed Setup** を選択する
- 4 **Device Regist.** を選択する
Bluetooth機器の検索が始まります。
検索が終了すると、ディスプレイに
“Finished” と表示されます。
- 5 リストからBluetooth機器を選択する
- 6 PINコードを入力する

- 7 ボリュームノブを1秒以上押して、
PINコードを送信する
“Pairing Success” が表示されたら
登録完了です。
- 8 **MENU** を押す
機器リスト画面に戻ります。

MEMO

- 本機から登録できない場合は、Bluetooth機器側から登録してください。詳しくは「携帯電話から登録する(ペアリング)」(P.42)をご覧ください。
- 本機で入力できるPINコードは8桁までの数字です。本機で入力できないPINコードの場合は、Bluetooth機器側から登録してください。
- 登録済みのBluetooth機器が5台ある場合は、新たに登録することができません。不要な登録を削除してください。
- PINコードが正しいのにエラー表示が出て登録できない場合は、「特殊なBluetooth機器を登録する」(P.67)の登録を試してください。

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す。
次の桁に移動する	▶▶ を押す。
最後の桁を削除する	◀◀ を押す。

携帯電話から登録する (ペアリング)

ここでは、携帯電話から操作して本機に登録する方法を説明します。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 携帯電話を操作して機器登録を行う
 検索した接続機器の中から“KCA-BT200”を選択します。
 携帯電話の操作方法については、お使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

- 3 携帯電話を操作して接続を開始する

MEMO

- 携帯電話から登録できない場合は、「特別なBluetooth機器を登録する」(P.67)を参照して登録してください。

携帯電話を利用する

電話をかける

- 1 **TI** を1秒以上押す
 発信モードになります。
- 2 発信方法を選択する

表示	発信方法
Preset Call	登録した番号に電話をかけます。(P.43)
Phonebook	電話帳を名前順に探して電話をかけます。(P.44)
In Call	着信履歴から電話をかけます。(P.44)
Out Call	発信履歴から電話をかけます。(P.44)
Missed Call	不在着信履歴から電話をかけます。(P.44)

表示	発信方法
Number Dial	電話番号を入力して電話をかけます。(P.42)

以降の操作は、各モードの説明ページをご覧ください。

♪ こんなときは…

- 発信方法選択を中止する
 → **TI** を押す

電話番号を入力して電話をかける

- 1 **TI** を1秒以上押す
 発信モードになります。
- 2 **Number Dial** を選択する
- 3 電話番号を入力する



動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す
次の桁に移動する	▶▶ を押す
最後の桁を消去する	◀◀ を押す

- 4** ボリュームノブを押す
電話を発信します。

MEMO

- 入力できる電話番号は、32桁までです。

登録した番号に電話をかける

本機に電話番号を登録（プリセット）して、簡単に電話をかけることができます。プリセット番号を使用するには、あらかじめ電話番号を登録する必要があります。

プリセット番号を登録する

- 1** 登録する電話番号を入力する
入力方法について詳しくは「電話番号を入力して電話をかける」(P.42)、「電話帳から電話をかける」(P.44)、「履歴から電話をかける」(P.44)をご覧ください。
- 2** ボリュームノブを2秒以上押す
- 3** リストから登録する番号を選択する
- 4** ボリュームノブを2秒以上押す
選択したプリセット番号に電話番号が登録されます。

♪こんなときは…

- 番号登録を中止する
→ **MENU** を押す

プリセット番号から電話をかける

- 1** **TI** を1秒以上押す
発信モードになります。
- 2** **Preset Call** を選択する
- 3** 電話をかけたいプリセット番号を選択する
ディスプレイに電話番号が表示されません。
- 4** ボリュームノブを押す
- 5** 再度ボリュームノブを押す
電話を発信します。

電話帳を利用する

電話帳に登録されている番号に電話をかけます。電話帳を利用するには、あらかじめ携帯電話から電話帳をダウンロードする必要があります。

電話帳をダウンロードする

携帯電話に登録されている電話帳のデータを、本機にダウンロードして本機の電話帳として利用できるようにします。

●自動でダウンロードする場合

携帯電話が電話帳のシンクロ機能に対応している場合、Bluetooth対応携帯電話を接続すると自動でダウンロードします。

MEMO

- 携帯電話側の設定が必要な場合があります。
- “Completed” と表示されても電話帳にデータがない場合、お使いの携帯電話は自動ダウンロードに対応していません。手動でダウンロードしてください。

ハンズフリー通話の操作をする

●携帯電話から手でダウンロードする場合

1 携帯電話を操作してハンズフリー接続を終了する

2 携帯電話を操作して電話帳を送信する

ダウンロード中は“Downloading”と表示されます。“Completed”が表示されたらダウンロード完了です。

3 携帯電話を操作してハンズフリー接続を開始する

●ダウンロード完了表示を消すには
何か操作を行うと表示が消えます。

MEMO

- ・本機は機器登録した携帯電話ごとに1000件まで電話番号を登録できます。
- ・1件に登録できるのは、電話番号が32桁、名前が50文字までです。(文字数は1バイトの場合です。文字種により少なくなります。)
- ・電話帳のダウンロードを途中で中止するには、携帯電話側で中止してください。

電話帳から電話をかける

1 **[TI]** を1秒以上押す
発信モードになります。

2 **[Phonebook]** を選択する

3 フリガナを選択する

動作	操作
頭文字を選択する	ボリュームノブを回す
次の行に移動する	[▶▶] または [◀◀] を押す
フリガナを決定する	ボリュームノブを1秒以上押す

4 名前を選択する

動作	操作
次の電話番号に移動する	ボリュームノブを回す
次の名前に移動する	ボリュームノブを押す

MEMO

- ・**[DISP] [SCRL]** を押すと、名前と詳細の表示を切り替えることができます。

5 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

MEMO

- ・フリガナ検索は、携帯電話の電話帳に登録されているフリガナを利用しています。フリガナが登録されていないと検索できません。

履歴から電話をかける

1 **[TI]** を1秒以上押す
発信モードになります。

2 **[In Call]** (着信履歴)、**[Out Call]** (発信履歴) または **[Missed Call]** (不在着信履歴) を選択する

3 名前または電話番号を選択する

MEMO

- ・**[DISP] [SCRL]** を押すと、名前と詳細の表示を切り替えることができます。

4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。

MEMO

- ・発信履歴、着信履歴、および不在着信履歴は、本機で発信および着信した履歴です。携帯電話内の履歴ではありません。



音声で電話をかける

- 1 ボリュームノブを1秒以上押す
音声認識モードになり、“PB Name ?”と表示されます。
- 2 ビープ音が聞こえたら2秒以内に名前を発声する
“PN Type ?”と表示されます。
- 3 ビープ音が聞こえたら2秒以内にカテゴリ（種類）を発声する
電話番号が表示されます。
- 4 ボリュームノブを押す
電話を発信します。
電話番号を変える場合は、「電話帳から電話をかける」(P.44)の手順4の操作を行います。

MEMO

- 音声認識されないときはメッセージが表示されます。メッセージの表示後にボリュームノブを押すと再度音声入力ができます。(P.77)
- 音声認識を行うには、あらかじめ名前とカテゴリにボイスタグを登録する必要があります。詳しくは「電話帳にボイスタグを設定する」(P.65)と「カテゴリのボイスタグを設定する」(P.66)をご覧ください。
- 電話帳にカテゴリが登録されていない、またはカテゴリのボイスタグが登録されていないと手順3の操作がなくなります。
- 音声認識を行っている間は、オーディオの音声は出力されません。

電話帳のカテゴリ表示について

電話帳の検索など電話番号のカテゴリを次のように表示します。

表示	情報
	一般
	自宅
	会社
	携帯電話
	その他

電話を受ける

- 1 ボリュームノブを押す
電話を受信します。

MEMO

- USBを接続するなど、音源を切り替えると通話が切断されます。
- 電話帳に名前が登録されている場合、電話をかけた人の名前がディスプレイに表示されます。

♪ こんなときは…

- 着信を拒否する
→ **[SRC]** を押す、または **[TI]** を1秒以上押す。

通話を終了する

- 1 **[SRC]** を押す、または **[TI]** を1秒以上押す



ハンズフリー通話の操作をする

いろいろな操作

	動作	操作
通話中	通話中の音量を調整する ^{※1}	ボリュームノブを回す
	プライベート通話に切り替える ^{※2}	を押す
割り込み通話	今の通話を保留にして、かかってきた電話に出る	ボリュームノブを押し、 Answer を選択する
	今の通話を終了して、かかってきた電話に出る	SRC を押す
	今の通話を続ける	ボリュームノブを押し、 REJECT を選択する
	今の通話を終了して、保留中の電話に出る	SRC を押す
	保留中の通話に切り替える ^{※3}	ボリュームノブを押す
その他	未接続表示 (“HF Disconnect”) を解除する	T1 を1秒以上押す

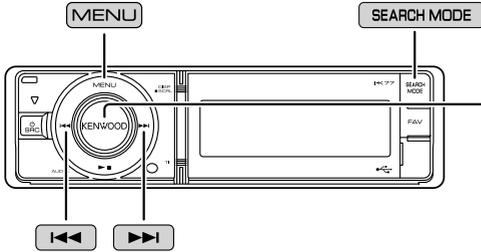
- ※1 ここで受話音量を調整すると、次回の通話でも同じ音量になります。
受話音量を大きくすると、エコーが発生しやすくなります。エコーは受話音量に比例して大きくなるので、エコーが発生したときは音量をなるべく小さくしてください。
- ※2 を押すごとに、プライベート通話（携帯電話での操作）と本機でのハンズフリー操作が切り替わります。携帯電話によってはプライベート通話に切り替えるとハンズフリー接続の前に聞いていた音源に戻ることがあります。その場合は、本機ではハンズフリー通話に戻すことができません。携帯電話側を操作してハンズフリー通話に切り替えてください。
- ※3 ボリュームノブを押すごとに、現在の電話と保留中の電話が切り替わります。



テレビの操作をする

本機からテレビの操作をする

別売品のLX-BUS 対応のナビゲーション、HDX-710 などが接続されているときに、本機からテレビの操作をすることができます。



ボリュームノブ
以下のように操作します。

例) **MUSIC** を選択する

→ボリュームノブを回して**MUSIC** を選択し、
ボリュームノブを押して決定する。

観たい放送局を探す

- 1 **SEARCH MODE** を押す
押すごとにテレビ放送バンドとビデオ入力が切り替わります。
- 2 **▶▶** または **◀◀** を押す
放送局が切り替わります。

♪こんなときは…

- ・メイン音声とサブ音声を切り替える
→ **SEARCH MODE** を1秒以上押す。

MEMO

- ・付属のリモコンを使えば、チャンネル番号を入力して直接観たい放送局を受信することができます。詳しくは「リモコンを操作する」(P.70)をご覧ください。
- ・動作は接続している別売品のテレビモニターの設定によって異なります。詳しくは、テレビモニターの取扱説明書を参照してください。

放送局を手動登録する

受信している放送局を本機に登録して、簡単に呼び出すことができます。

- 1 お好みの放送局を受信する
操作方法は「観たい放送局を探す」(P.47)をご覧ください。
- 2 **MENU** を押す
- 3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4 登録する番号を選択して、ボリュームノブを2秒以上押す
選択したリスト番号に、受信中の放送局が登録されます。

登録した放送局を呼び出す

- 1 テレビ放送バンドを選択する
操作方法は「観たい放送局を探す」(P.47)をご覧ください。
- 2 **MENU** を押す
- 3 **List & Memory** を選択する
放送局リストが表示されます。
- 4 聴きたい放送局の番号を選択する
選択した放送局が受信されます。

本機の設定をする

ディスプレイの表示を設定しよう

ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.17) を参照してください。

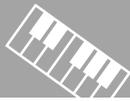
1 **[MENU]** を押す

2 **[Settings]** を選択する

3 **[DISP & ILLUMI]** を選択する

各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
Display Select	表示タイプを切り替えます。(P.50) Type Select : ディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。 Side Select : ディスプレイ左側の表示タイプを切り替えます。 Text Select : ディスプレイに表示されるテキスト(アーティスト名や曲名、時計表示など)の項目を切り替えます。 Graphic Select : スペアナ表示に設定しているときのディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。 Status : 各種機能のステータス表示の有無を設定します。	Type Select/ Side Select/ Text Select/ Graphic Select ^{*1} / Status
Color Select	キーとディスプレイのイルミネーション色を設定します。色をお好みで調整することもできます。(P.52、P.53) All : キーとディスプレイの両方のイルミネーション色を設定します。 Display : ディスプレイのイルミネーション色を設定します。 Key : キーのイルミネーション色を設定します。	All/Display/ Key
Display Off Mode	[ON] に設定すると、本機の操作を5秒間行わなかった場合にディスプレイの表示を消します。ただし、各設定モード中はONに設定して5秒経過してもディスプレイは消えません。	ON/OFF
Display Dimmer	ディスプレイの明るさを切り替えます。 Auto : 車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1 : 常時減光します。 Manual2 : Manual1 よりもさらに減光します。 OFF : 減光しません。	Auto/Manual1/ Manual2/OFF



表示	設定内容	設定値
Contrast	ディスプレイのコントラストを調整します。 取り付け位置によってはディスプレイの文字が見えにくい場合があります。このようなときに調整してください。	1 ~ 5 ~ 12
DISP N/P	ディスプレイの表示タイプをネガとポジとに切り替えます。 また、ライトスイッチに連動して反転することも可能です。 POSI1 : 文字をポジタイプで表示します。 POSI2 : 車両のライトスイッチがOFFのときは、文字をポジタイプで表示し、ONにするとネガタイプで表示します。 NEGA1 : 文字をネガタイプで表示します。 NEGA2 : 車両のライトスイッチがOFFのときは、文字をネガタイプで表示し、ONにするとポジタイプで表示します。	POSI1/POSI2/ NEGA1/NEGA2
TEXT Scroll	ディスプレイにディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダ名、ファイル名、曲タイトル/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。 この機能を「Auto」に設定しておくでスクロール表示を繰り返し行い、「Manual」に設定しておくで表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。	Auto/Manual
ILLUMI Dimmer	キーのイルミネーションの輝度を下げます。 Auto : 車両のライトスイッチに連動して減光します。 Manual1 : 常時減光します。 Manual2 : Manual1 よりもさらに減光します。 OFF : 減光しません。	Auto/Manual1 / Manual2/OFF
ILLUMI Effect	本機の操作に連動してキーのイルミネーションの輝度を変える演出効果を設定します。 OFF : 演出効果がありません。 ON : 本機を操作することにより、輝度が変化します。	ON/OFF
ILLUMI MSC SYNC	音量に連動してイルミネーションの色を変える演出効果を設定します。 OFF : 演出効果がありません。 ON : 音量により色が変化します。	ON/OFF

※1 ディスプレイをスペアナ（周波数）表示にしている場合のみ設定できます。

4 設定項目を選択する

5 設定値を選択する

MEMO

・さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

6 **[MENU]** を1秒以上押し続けてメニュー画面に戻り、再度 **[MENU]** を押し続けて終了する

全体の表示タイプを切り替える

ディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。

iPodを選択している場合とiPod以外の音源を選択している場合では、表示できる項目が異なります。

- 1 DISP & ILLUMI設定画面を表示する
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48)をご覧ください。
- 2 **Display Select** を選択する
- 3 **Type Select** を選択する
▶▶ または ◀◀ を押すと、以下のようにディスプレイの表示が切り替わります。

4行 (5行) 表示モード



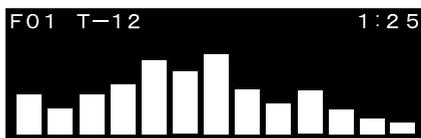
2行 (3行) 表示モード



iPod風表示モード (音源がiPodの場合のみ)



スペアナ表示モード



時計表示モード



MEMO

- 本機の **DISP**・**SCRL** を押しても、同様の設定ができません。

- 4 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押しして終了する

左側の表示タイプを切り替える

ディスプレイ左側の表示タイプを切り替えます。

MEMO

- この操作は、ディスプレイ全体の表示タイプが「4行 (5行) 表示モード」または「2行 (3行) 表示モード」の場合のみ設定できます。

- 1 DISP & ILLUMI設定画面を表示する
設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48)をご覧ください。
- 2 **Display Select** を選択する



- 3 **Side Select** を選択する
 ▶▶ または ◀◀ を押しと、ディスプレイの左側が「項目名」→「アイコン表示」→「表示なし」の順で切り替わります。
- 4 **MENU** を1秒以上押ししてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押しして終了する

項目名の表示を切り替える

ディスプレイに表示されるテキスト（アーティスト名や曲名、時計表示など）の項目を切り替えます。

- 1 DISP & ILLUMI設定画面を表示する
 設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48) をご覧ください。
- 2 **Display Select** を選択する
- 3 **Text Select** を選択する
- 4 表示するテキストを選択する
 ▶▶ または ◀◀ を押しと表示する項目を変更できます。ボリュームノブを回すと次の行へ移動します。
- 5 **MENU** を1秒以上押ししてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押しして終了する

MEMO

- 選択している音源によって、表示できる項目は異なります。

- 選択した情報がない場合は、代替の情報が表示されます。
- iPodの再生中にフォルダ名表示を選択すると、現在選択中のリスト項目に沿った名称が表示されます。
- iPodの場合、すべての文字が表示できないとき、選択したリストのファイル番号が表示されます。

表示	項目
"TITLE***"	曲名
"FLD***"	フォルダ名
"FILE***"	ファイル名

スペアナの表示タイプを切り替える

スペアナ表示に設定しているときのディスプレイ全体の表示タイプを切り替えます。

- 1 DISP & ILLUMI設定画面を表示する
 設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48) をご覧ください。
- 2 **Display Select** を選択する
- 3 **Graphic Select** を選択する
 ▶▶ または ◀◀ を押しと、ディスプレイの表示が切り替わります。
- 4 **MENU** を1秒以上押ししてメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押しして終了する

ステータス表示を切り替える

4行（5行）表示モード、または2行（3行）表示モードに設定している場合に、1行目に表示される各種機能のステータス表示の有無を設定します。

MEMO

- この操作は、ディスプレイ全体の表示タイプが「4行（5行）表示モード」または「2行（3行）表示モード」の場合のみ設定できます。

1 DISP & ILLUMI設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48)をご覧ください。

2 [Display Select] を選択する

3 [Status] を選択する

 または  を押すと、ステータス表示の有無が切り替わります。

MEMO

- 4行表示モードの場合は5行表示に、2行表示モードの場合は3行表示に切り替わります。

4 [MENU] を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 [MENU] を押して終了する

イルミネーション色を設定する

キーとディスプレイのイルミネーション色を設定します。

1 DISP & ILLUMI設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48)をご覧ください。

2 [Color Select] を選択する

3 色を設定したい項目を選択する

各項目の操作対象は以下のとおりです。

表示	設定内容
All	キーおよびディスプレイを同じ色に設定します。
Display	ディスプレイの色を設定します。
Key	キーの色を設定します。

4 または を押して設定する色を選択する

“Color1” ~ “Color10”、または “Variable Scan” から選択します。

MEMO

- “Variable Scan” は基本色が順番に切り替わります。
- “User” には、お好みで調整した色を登録することができます。(P.53)

5 [MENU] を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 [MENU] を押して終了する



イルミネーション色を調整する

キーとディスプレイのイルミネーション色をお好みで調整します。

1 DISP & ILLUMI設定画面を表示する

設定画面の表示方法は、「ディスプレイの表示を設定しよう」(P.48)をご覧ください。

2 **Color Select** を選択する

3 色を調整したい項目を選択する

各項目の操作対象は以下のとおりです。

表示	調整内容
All	キーおよびディスプレイを同じ色に調整します。
Display	ディスプレイの色を調整します。
Key	キーの色を調整します。

4 ボリュームノブを1秒以上押す

R (赤) G (緑) B (青) 調整画面が表示されます。

MEMO

- “Variable Scan” を選択しているときは、色の調整ができません。

5 ボリュームノブを回して調整値を選択する

、 で調整する色 (RGB) を移動します。

MEMO

- 調整した値は、設定値の “User” に登録されます。

6 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押し、終了する

お好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)

音響効果などを設定します。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.17)を参照してください。

- 1** いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示		設定内容	設定値
Subwoofer Level		サブウーファアの音量を調整します。	-15 ~ 0 ~ +15
DSP Set		DSP機能のON/OFFを設定します。 Bypass : DSP機能が停止します。 Through : DSP機能を使用します。	Through /Bypass
Equalizer	Preset Equalizer	ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できます。	Natural/ User / Rock/Pops/ Easy/Top40/ Jazz/Game/ iPod (iPod接続時のみ)
	Manual Equalizer	音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。 (P.57)	-
Bass Boost		低音を増強します。	OFF /Step1/ Step2
HIGHWAY-SOUND		ロードノイズによってかき消される小さな音を大きくして、聞き取りやすくすると共に、消されがちな低音の強調をすることで、ロードノイズに負けない音にします。 音源をラジオに設定している場合は調整できません。	OFF/Step1/ Step2/ Step3
Supreme		Supreme機能のON/OFFを設定します。	ON /OFF
Position	Preset Position	聴く位置に合わせてプリセットポジションの設定をします。音像定位が補正されます。	ALL /Front-Right/ Front-Left/Front
	DTA ^{*1}	"FRONT"、"REAR"、"SUBWOOFER" のポジションをそれぞれ設定します。「Preset Position」で設定した値をスピーカーごとに微調整します。 INITIAL : 選択してボリュームノブを1秒以上押しと、設定値を初期状態に戻します。	L : 0 ~ 170 cm R : 0 ~ 170 cm
Balance		左右の音量バランスを調整します。	L15 ~ 0 ~ R15
Fader		前後の音量バランスを調整します。	F15 ~ 0 ~ R15
2Zone Rear Volume ^{*2}		デュアルゾーン機能使用時のリアスピーカーの音量を調整します。	0 ~ 15 ~ 35
Subwoofer		サブウーファー出力のON/OFFを設定します。	ON /OFF



表示		設定内容		設定値
Detailed Setup	Car Type	車種を選択することで簡単にタイムアライメントを設定し、スピーカー間の距離差を補正します。		OFF/Compact/Sedan/Wagon/Minivan/SUV/OneBox
	Speaker	FRONT	フロントスピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。 また、ツイーターの有無を設定します。 None：ツイーターがない場合の設定です。	SIZE： 4×6/5×7/6×8 /6×9/7×10/ O.E.M/10cm/ 13cm/16cm/ 17cm/18cm LOCATION： Door/OnDash/ UnderDash TWEETER： Use/None
		REAR	リアスピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。 O.E.M：車両標準で付いている再生帯域の狭いスピーカーの設定です。	SIZE： 4×6/5×7/6×8 /6×9/7×10/ None/O.E.M/ 10cm/13cm/ 16cm/17cm/ 18cm LOCATION： Door ^{*3} / Rear Deck ^{*3} / 2nd seat ^{*4} / 3rd seat ^{*4}
		SUB W	サブウーファースのサイズを設定します。 None：スピーカーがない場合の設定です。	SIZE： 16cm/20cm/ 25cm/30cm/ 38cmOver/None
Car Type Adjust	「Car Type」で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。 (P.57) この機能は、「Preset Position」と合わせて使用します。		—	
X' Over	各スピーカーの補正をします。 (P.58)		—	
NAV Guide ^{*5}	カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定します。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。 ATT：ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。 INT：ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。		OFF/ATT/INT	
NAV Volume ^{*6}	ナビ音声ガイド時の音量を設定します。		0～15～25	

▶次ページへつづく

本機の設定をする

	表示	設定内容	設定値
Detailed Setup	Volume Offset	音源ごとの音量差を調整します。音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (AUXの場合： -8 ~ 0 ~ +8)
	2Zone*7	デュアルゾーン機能のON/OFFを設定します。	ON/OFF
	2Zone Select*2	「2Zone」をONに設定しているときの内部AUX入力音声(サブ音源)の出力先(フロント/リア)を設定します。	Front/Rear
	Preset	DSP設定の登録および呼び出しを行います。1 ~ 6のメモリー番号に登録できます。(P.59) Memory : 登録 Recall : 呼び出し	-

*1 サブウーファー左側とサブウーファー右側を1つのサブウーファーで使用する場合は、左右を同じ値に設定してください。

*2 「Detailed Setup」の「2Zone」をONに設定しているときに表示されます。

*3 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「OneBox」以外の場合に設定できます。

*4 「Car Type」の設定が、「Minivan」または「OneBox」の場合に設定できます。

*5 この機能を「INT」に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、AUX入力にナビゲーションシステムでKSF(別売品のHDX-710などの音楽ファイル)を再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声ナビ音声ガイドと一緒に聞こえる場合があります。

*6 「Detailed Setup」の「NAV Guide」が「INT」に設定されているときに表示されます。

*7 この機能が「ON」のときは、「Balance」、「2Zone Rear Volume」、「NAV Guide」、「NAV Volume」、「Volume Offset」、「2Zone Select」のみ設定できます。

MEMO

- Supreme (サブプリーム) 機能とは、エンコードしたときに欠落してしまった高音域を、独自のアルゴリズムにより推定・補完する技術です。さらに、エンコード時に欠落した低音とボーカルの音声成分をも補完することで自然な音質を再現します。補完は圧縮フォーマット(AAC、MP3、またはWMA)別に最適化され、ビットレートに合わせて処理されます。なお、オーディオファイルのフォーマットやエンコード時の設定の関係によっては、効果がわかりにくい場合があります。
また、音楽CDおよびiPodの音に対しても低音とボーカルの音声成分の補完を行います。
- 2Zone (デュアルゾーン) 機能とは、メイン音源とサブ音源(AUX入力)をフロントスピーカーとリアスピーカーに振り分けて出力する機能です。
- 本機とケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続して使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオン、または「オーディオ接続設定」機能を設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。なお、「NAV Guide」機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

2 設定項目を選択する

MEMO

- さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

3  または  を押して設定値を選択する

4  を1秒以上押す

本機の設定をする

表示	項目	設定値
Front	フロントスピーカー	0 ~ 440cm
Rear	リアスピーカー	0 ~ 440cm
SW	サブウーファー	0 ~ 440cm

MEMO

- 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

5 **[MENU]** を1秒以上押す

クロスオーバーの設定をする

各スピーカーの補正をします。

- 1 いずれかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
- 2 **[Detailed Setup]** を選択する
- 3 **[X' Over]** を選択する
- 4 調整する項目を選択する

表示		設定内容
Front	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ハイパスフィルター スロープ
Rear	FC	ハイパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ハイパスフィルター スロープ

表示		設定内容
Subwoofer	FC	ローパスフィルター カットオフ周波数
	SLOPE	ローパスフィルター スロープ
	PHASE	ローパスフィルター の位相

[▶▶] または **[◀◀]** を押して設定値を選択します。項目を移動するときはボリュームノブを回します。

設定内容	設定値
FC (ハイパスフィルター カットオフ周波数)	Through /30Hz/40Hz/ 50Hz/60Hz/70Hz/80Hz/ 90Hz/100Hz/120Hz/ 150Hz/180Hz/220Hz/ 250Hz
FC (ローパスフィルター カットオフ周波数)	30Hz/40Hz/50Hz/ 60Hz/70Hz/80Hz/90Hz/ 100Hz/120Hz/150Hz/ 180Hz/220Hz/250Hz/ Through
SLOPE (スロープ)	-6dB/- 12dB /-18dB/ -24dB
PHASE (位相)	Normal /Reverse

MEMO

- 太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

5 **[MENU]** を1秒以上押す



MEMO

• Front FC/Rear FC :
 設定された周波数 (カットオフ周波数) よりも低い成分をカットします。サブウーファーを追加するとき、この機能を使って、出力から低域成分をカットして高域のみの音にします。“Through” に設定すると、この機能をOFFにできません。

Front SLOPE/Rear SLOPE :
 Front FC/Rear FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

SW FC :
 設定された周波数 (カットオフ周波数) よりも高い成分をカットします。サブウーファー出力をサブウーファー用として使用するとき、この機能を使って、出力から高域成分をカットして低域のみの音にします。“Through” に設定すると、この機能をOFFにできます。

SW SLOPE :
 SW FCで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

SW PHASE :
 サブウーファーの位相 (正相/逆相) を設定します。

DSP設定を登録する

- DSP設定の登録を行います。
 登録できる設定項目は以下のとおりです。
- ・ Manual Equalizer (P.57)
 - ・ Position (P.54)
 - ・ Car Type (P.55)
 - ・ Speaker (P.55)
 - ・ Car Type Adjust (P.57)
 - ・ X' Over (P.58)

- 1 いくつかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **Preset** を選択する
- 4 **Memory** を選択する
- 5 登録したいプリセット番号を選択する

プリセット番号	設定内容
1	メモリー 1 に登録します。リセットボタンを押しても消去されません。
2	メモリー 2 に登録します。リセットボタンを押しても消去されません。
3 ~ 5	メモリー 3 ~ 5 に登録します。
6	メモリー 6 に登録します。リセットボタンを押したとき、この設定が初期設定値になります。

- 6 **YES** を選択する
“Memory Completed” と表示されたら登録が完了です。
- 7 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押して終了する

本機の設定をする

DSP設定を呼び出す

登録したDSP設定を呼び出します。

- 1 いくつかの音源を再生中に、ボリュームノブを押す
オーディオ設定画面が表示されます。
- 2 **[Detailed Setup]** を選択する
- 3 **[Preset]** を選択する

4 **[Recall]** を選択する

5 呼び出したい設定のプリセット番号を選択する

6 **[YES]** を選択する
“Recall Completed” と表示されます。

7 **[MENU]** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **[MENU]** を押し
て終了する

音源ごとに設定を変更しよう

音源ごとに用意されている機能の設定を変更することができます。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.17) を参照してください。

1 設定を変更する音源に切り替えて、**[MENU]** を押す
メニュー画面が表示されます。

2 **[Settings]** を選択する
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

音源	表示	設定内容	設定値
ラジオ	Seek Mode	放送局の探しかたを設定します。 Auto 1：放送局を自動的に受信します。 Auto 2：登録されている放送局を順番に受信します。 Manual：1ステップずつ周波数が変わります。	Auto1 / Auto2 / Manual
	Auto Memory	受信状態の良い放送局を自動的に登録します。(P.35)	—
	Forced MONO ^{※1}	FMステレオ放送をモノラルで受信します。 受信状態の悪いFM放送局を聴いているときにモノラルに設定すると、雑音が軽減されて聴きやすくなる場合があります。	ON/OFF



音源	表示	設定内容	設定値
iPod	Skip Search	曲を探すときのスキップする割合を設定します。(P.32)	0.5%/1%/5%/10%
	Delete My Playlist	My Playlistのリストを削除します。(P.33)	—
AUX	AUX NameSet	音源をAUXに切り替えたときに表示される名前を設定します。	AUX/DVD/ PORTABLE/ GAME/VIDEO/TV
USB	Skip Search	Music Editorでデータを付加している場合に、曲を探すときのスキップする割合を設定します。(P.25)	0.5%/1%/5%/10%
すべての音源	Clock & Date	本機の時計と日付を合わせます。(P.8)	—
	DISP & ILLUMI	ディスプレイの表示や色に関する設定を行います。(P.48)	—

※1 FMラジオ受信時のみ。ONに設定すると、電力線などの強い電場により音質が落ちることがあります。そのような場合は、OFFに設定してください。

3 設定項目を選択する

4 または を押して設定値を選択する

MEMO

• AUXの「AUX NameSet」は、ボリュームノブを回して設定値を選択します。

5 を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 を押して終了する

Bluetoothの設定を変更しよう

ハンズフリーやBluetoothオーディオなど、Bluetoothに関する設定をします。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.17)を参照してください。

1 **TI** を1秒以上押す
Bluetoothモードになります。

2 **BT Settings** を選択する
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。ハンズフリー選択時とBluetoothオーディオ選択時では、表示される項目が異なります。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

MEMO

- 以下の操作でも設定項目を表示できます。
 - MENU** を押し、**Settings** を選択する
 - BT Settings** を選択する

表示		設定内容	設定値
Phone Selection		登録してある複数のBluetooth機器から、使用するデバイスを選択します。(P.64)	—
Audio Selection			
SMS Download		携帯電話に届いたショートメッセージ(SMS)をダウンロードして、本機で読めるようにします。(P.64)	—
SMS Inbox		携帯電話に届いたショートメッセージ(SMS)を本機で表示します。新着メッセージが届いたときはメッセージが表示されます。(P.65)	—
Voice Tag	PB Name Edit	電話帳に音声で呼び出すためのボイスタグを登録します。ボイスタグは最大35件まで登録できます。(P.65)	—
	PN Type Edit	電話番号のカテゴリ(種類)に音声で呼び出すためのボイスタグを付けます。(P.66)	—



	表示	設定内容	設定値
Detailed Setup	Device Regist.	Bluetooth機器を本機に登録（ペアリング）します。（P.41）	—
	SPCL DVC Select	通常に登録（ペアリング）ができない特殊なデバイスを登録します。（P.67）	—
	Device Delete	登録済みのBluetooth機器を削除します。（P.67）	—
	PIN Code Edit	Bluetooth機器側から登録（ペアリング）する際に必要なPINコードを設定します。（P.68）	—
	Auto Answer ^{*1}	着信コールの経過時間で自動的に電話を受ける（応答）機能です。 OFF：自動着信しません。 0s：すぐに自動着信します。 1s～99s：1秒から99秒で自動着信します。	OFF/0s/ 1s～8s～99s
	Bluetooth HF/Audio	Bluetoothオーディオおよび受話音声を出力するスピーカーを設定します。 FRONT：フロントの左右のスピーカーから出力します。 ALL：フロントおよびリアの左右のスピーカーから出力します。	FRONT/ALL
	Call Beep	この機能をONにすると、携帯電話に着信があった場合にスピーカーからビープ音を鳴らして着信を知らせます。	ON/OFF
	BT F/W Update ^{*3}	ファームウェアのバージョン情報を表示します。	—

※1 携帯電話の自動着信設定を本機の設定より早い時間にしていると、携帯電話の設定が優先されます。また、割り込み通話中の着信には動作しません。

※2 ハウリングやエコーを軽減するため、マイクから離れたスピーカーに設定してください。

※3 ファームウェアのアップデート方法は、下記ホームページをご覧ください。

<http://www.kenwood.com/cs/ce/bt/>

3 設定項目を選択する

4 または を押して設定値を選択する

MEMO

・さらに詳細な設定が必要な項目は、各説明ページをご覧ください。

5 を1秒以上押す

接続するBluetooth機器を選択する

登録してある複数のBluetooth機器から、使用する機器を選択します。

1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62)をご覧ください。

2 **Phone Selection**、または **Audio Selection** を選択する

MEMO

- ハンズフリーを利用する場合は **Phone Selection** を、Bluetoothオーディオを利用する場合は **Audio Selection** を選択します。

3 ボリュームノブを押す
機器名が表示されます。

4 使用する機器を選択し、**▶▶**、**◀◀** で機器の接続を選択する

表示	内容
"*"	接続中
"_"	接続待機中
" " (空白)	接続解除

MEMO

- 既にBluetooth機器が選択されている場合は、既存の選択を解除してから新しいBluetooth機器を選択してください。

5 **TI** を1秒以上押す

ショートメッセージ(SMS)をダウンロードする

携帯電話に届いたショートメッセージ(SMS)をダウンロードして、本機で読めるようにします。

1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62)をご覧ください。

2 **SMS Download** を選択する

3 ボリュームノブを押す
ディスプレイに“SMS Downloading”と表示され、ダウンロードが開始されます。ダウンロードが完了すると“Completed”と表示されます。

4 **TI** を1秒以上押す

MEMO

- 携帯電話がBluetoothでショートメッセージを転送する機能をもっている必要があります。また、携帯電話側の設定が必要な場合があります。
- 携帯電話からショートメッセージをダウンロードすると、携帯電話内の未開封メッセージは開封済みとなります。
- 未読メッセージと既読メッセージは、それぞれ75件までダウンロードできます。



ショートメッセージサービス (SMS) を利用する

新着メッセージが届いたときはメッセージが表示されます。



- 走行中の運転者は、ショートメッセージを読まないでください。
事故の原因となります。

新着メッセージが届くと

“SMS Received” と表示されます。
何か操作を行うと表示が消えます。

ショートメッセージを表示する

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62) をご覧ください。
- 2 **SMS Inbox** を選択する
メッセージリストが表示されます。
- 3 リストからメッセージを選択する
メッセージが表示されます。

MEMO

- **DISP ■ SCRL** を押すごとに、電話番号、名前、メッセージ受信日を切り替えます。
- ボリュームノブを回すと、メッセージがスクロールします。
- ボリュームノブを再度押すと、メッセージ表示に戻ります。

- 4 **MENU** を押す
SMS受信モードを終了します。

- 5 **TI** を1秒以上押す

MEMO

- 未開封メッセージがリストの先頭に表示されます。その他は受信日順になります。
- 携帯電話と接続していないときに届いたショートメッセージは表示できません。はじめにショートメッセージのダウンロードを行ってください。
- ショートメッセージのダウンロードを行っている最中は、ショートメッセージを表示できません。

電話帳にボイスタグを設定する

電話帳に音声で呼び出すためのボイスタグを登録します。ボイスタグは最大35件まで登録できます。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62) をご覧ください。
- 2 **Voice Tag** を選択する
- 3 **PB Name Edit** を選択する
- 4 ボイスタグを登録する名前を検索する

動作	操作
次の電話番号に移動する	ボリュームノブを回す
次の名前に移動する	ボリュームノブを押す

MEMO

- **DISP ■ SCRL** を押すと、名前と電話番号の表示を切り替えることができます。
- 既にボイスタグが登録されている場合は、名前の前に “*” が表示されます。

- 5 ボリュームノブを押す
名前が選択されます。

▶次ページへつづく

6 行う操作を選択する

表示	操作
PB Name Regist	ボイスタグを登録します。
PB Name Check*	ボイスタグを再生します。
PB Name Delete*	ボイスタグを削除します。
Return	手順4に戻ります。

*ボイスタグを登録してある名前のみ表示。

●PB Name Regist (登録) を選択した場合

7 ディスプレイに“Enter Voice 1”と表示され、ビープ音が鳴ったら2秒以内に名前のボイスタグを発生する

ディスプレイに“Enter Voice 2”と表示されます。

8 ビープ音が鳴ったら2秒以内に手順7と同じ名前のボイスタグを発生する

ボイスタグが認識されると、“Completed”と表示されます。

9 ボリュームノブを押す
ボイスタグの登録が終了します。

MEMO

- 音声認識されないときはメッセージを表示します。メッセージの表示後にボリュームノブを押すと、再度音声の登録ができます。

10 **[TI]** を1秒以上押す

●PB Name Check (再生) を選択した場合
登録されているボイスタグを再生して、手順4に戻ります。

●PB Name Delete (削除) を選択した場合

7 **[YES]** を選択する
ボイスタグを削除して手順4に戻ります。

MEMO

- ボイスタグの設定中は、オーディオの音声は出力されません。

カテゴリのボイスタグを設定する

電話番号のカテゴリ(種類)に音声で呼び出すためのボイスタグを付けます。

1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62)をご覧ください。

2 **[Voice Tag]** を選択する

3 **[PN Type Edit]** を選択する

4 設定するカテゴリを選択する

表示	内容
General	一般
Home	自宅
Office	会社
Mobile	携帯電話
Other	その他

5 行う操作を選択する



表示	操作
PN Type Regist	ボイスタグを登録します。
PN Type Check*	ボイスタグを再生します。
PN Type Delete*	ボイスタグを削除します。
Return	手順4に戻ります。

※ボイスタグを登録してある名前のみ表示。

以降の操作は、「電話帳にボイスタグを設定する」の「PB Name Regist(登録)を選択した場合」(P.66)の手順7～9を参照して、すべてのボイスタグを登録します。

6 **TI** を1秒以上押す

MEMO

- カテゴリのボイスタグは5種類すべて登録してください。登録されていないと音声で電話帳を呼び出すことができない場合があります。

特殊なBluetooth機器を登録する

本機からも携帯電話からも登録できない機器を本機に登録する方法を説明します。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62)をご覧ください。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **SPCL DVC Select** を選択する
- 4 登録する機器を選択する

- 5 ボリュームノブを押す
“Completed”と表示されたら完了です。以降の操作は、「Bluetooth機器を登録する」(P.41)を参照して登録(ペアリング)を行ってください。

MEMO

- 機器名が一覧に表示されない場合は“Other Phones”を選択して登録を試してください。

Bluetooth機器の登録を削除する

登録済みのBluetooth機器を削除します。

- 1 BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62)をご覧ください。
- 2 **Detailed Setup** を選択する
- 3 **Device Delete** を選択する
デバイス名が表示されます。
- 4 削除するBluetooth機器を選択する
- 5 **YES** を選択する
“Delete”と表示されたら削除完了です。
- 6 **TI** を1秒以上押す

MEMO

- 携帯電話の登録を削除すると、電話帳、履歴、SMS、およびボイスタグのデータも削除されます。

本機の設定をする

PINコードを登録する

Bluetooth機器側から本機に登録する際に必要なPINコードを設定します。

- BT Settings画面を表示する
設定画面の表示方法は、「Bluetoothの設定を変更しよう」(P.62)をご覧ください。
- Detailed Setup** を選択する
- PIN Code Edit** を選択する
- PINコードを入力する

動作	操作
数字を選択する	ボリュームノブを回す
次の桁に移動する	▶▶ を押す
最後の桁を削除する	◀◀ を押す

- ボリュームノブを1秒以上押す
PINコードが登録されます。
“Completed” と表示されたら登録完了です。

- TI** を1秒以上押す

MEMO

- 初期設定は“0000”に設定されています。
- 設定できるPINコードは8桁までの数字です。

初期設定を変更しよう

操作時の音に関する設定や、CDの読み込み方法に関する設定などを行います。操作方法は、「メニュー画面を操作しよう」(P.17)を参照してください。

- 音源をSTANDBYに設定する
- MENU** を押す
- Initial Settings** を選択する
各項目の詳細な設定内容については、以下の表をご覧ください。
太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

表示	設定内容	設定値
SRC Select	SRC を押したときの音源選択方法を切り替えます。 1：ボリュームノブを回して音源を選択します。 2： SRC を押すごとに音源の表示が切り替わります。	1/2
Beep	操作時のピープ音を設定します。	ON/OFF



表示	設定内容	設定値
カンジ ユウセン	CDテキストなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するか設定ができます。 ON： 漢字で表示(漢字が登録されていない場合は、カタカナまたは英/数文字で表示) OFF： カタカナまたは英/数文字で表示	ON/OFF
Built in AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON： AUX音源に切り替えたときに、内部AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。また、デュアルゾーン機能を使って、他の音源と同時に出力することもできます。常に外部機器を内部AUX端子に接続しているときはこの設定にします。 OFF： 内部AUX端子を使用しないときに選択します。	ON/OFF
Forced CD-DA	CDの読み込み方法を設定します。 特殊なフォーマットのCDを再生中、正常に再生できない場合に強制的に再生させる機能です。ただし音楽CDによっては再生できない場合もあります。 1： 通常はこちらでご使用ください。 2： 音楽CDとして強制的に再生します。オーディオファイルの再生はできなくなります。	1/2
Favorite Delete	FAV に登録したお気に入りを削除します。(P.38)	—
Built in AMP	内蔵アンプの出力をON/OFFします。 フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるときは、この機能をOFFに設定することで、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。 内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトから出力される音質を向上させることができます。	ON/OFF
DSI	セキュリティインジケータをON/OFFします。 この機能をONにしておくこと、パネルを外したときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。	ON/OFF

4 設定項目を選択する

5 **▶▶** または **◀◀** を押して設定値を選択する

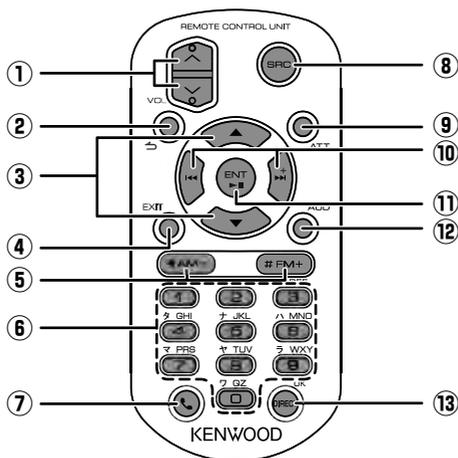
6 **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押して終了する

リモコンを操作する

本機を付属のリモコン（RC-405J）で操作することができます。



- リモコンをダッシュボードの上など、高温になる場所に置かないください。本機の変形など故障の原因となります。
- 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定以外の電池を使用したり、電池を充電、ショート、分解したりしないでください。破裂、液漏れによる火災、けがの原因となることがあります。
- 電池を直射日光（炎天下）や炎のそばなどの高温となる場所に置いたり、火の中に入れてたりしないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。
- リチウム電池を交換するときは同型または同等タイプのもものと交換してください。異なる種類の電池と交換すると、破裂、液漏れによる火災、けがの原因となることがあります。



番号	ボタン名称	機能
①	ボリュームボタン	・ 音量を調整します。
②	リターンボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定操作時、一つ前の項目に戻ります。 ・ オーディオファイルおよびiPodでのミュージックサーチモード中、リストで項目を選択しているときに、一つ上のフォルダに戻ります。
③	▲/▼ボタン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設定操作時、リストを選択します。 ・ CDやオーディオファイルおよびiPod再生時、ミュージックサーチモードに切り替えます。(P.24、P.29) また、サーチモード中にフォルダ/ファイルを選択します。



番号	ボタン名称	機能
④	EXITボタン	• 操作中のモードを解除します。
⑤	AM / FMボタン	• ラジオのバンドを切り替えます。(P.35) • オーディオファイルのフォルダを選択します。 • ディスクチェンジャー再生時、ディスクを切り替えます。 • 電話番号入力中、「*」 / 「#」を入力します。*
⑥	数字ボタン	• ラジオのプリセット番号を入力します。 • ダイレクトサーチモードで検索する数字を入力します。 • 電話番号を入力します。* (P.42)
⑦	電話ボタン*	• Bluetoothモードに切り替えます。(P.41) • 電話を受けます。(P.45) • 通話中、割り込み通話に切り替えます。(P.46)
⑧	ソースボタン	• 音源を切り替えます。(P.16) • 通話を終了します。(P.45) また、通話中に現在の通話を終了して、保留中の電話に出ます。* (P.46)
⑨	アッテネーターボタン	• ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
⑩	シークボタン	• ラジオの周波数を切り替えます。(P.35) • CDやオーディオファイルおよびiPodの曲を選択します。 • 電話番号入力中、数字の削除 / 「+」の入力を行います。*
⑪	決定ボタン	• 一時停止 / 再生します。 • CDやオーディオファイルおよびiPodで、ミュージックサーチ中に選択した曲を再生します。 • 設定操作時、選択した項目を決定します。 • 通話中、プライベート通話とハンズフリー通話を切り替えます。* (P.46)
⑫	オーディオボタン	• オーディオコントロールモードに切り替えます。(P.54)
⑬	ダイレクトボタン	• ダイレクトサーチのオン / オフを切り替えます。 • 電話を発信します。* (P.42)

* 別売品の「KCA-BT200」接続時に操作できます。

MEMO

• ダイレクトサーチは、ラジオ、CD・オーディオファイル、ディスクチェンジャー、テレビ選択時に操作できます。

ラジオ受信時は、**[DIRECT]** ボタンを押して聴きたい周波数を数字ボタンで入力します。**[DIRECT]** ボタンを押さずに数字 (1 ~ 6) を入力すると、入力した数字に登録 (プリセット) されている放送局を受信します。(P.36)

CD・オーディオファイル再生時は、**[DIRECT]** ボタンを押して聴きたいファイル番号またはトラック番号を数字ボタンで入力します。ディスクチェンジャー再生時も同様に、聴きたいディスク番号またはトラック番号を入力します。

テレビ操作時は、**[DIRECT]** ボタンを押してチャンネル番号を入力します。数字を入力後、**[▶▶]** または **[◀◀]** ボタンを押して決定します。



リモコンを操作する

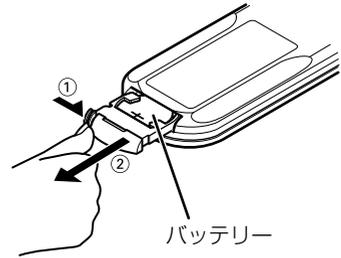
リモコンを準備する

リモコン本体から電池のシートを矢印の方向に引き出してください。



電池を交換する

市販のボタン電池（CR2025）を使用します。
電池の+極と-極を合わせ、図のように本体のケースにセットしてください。



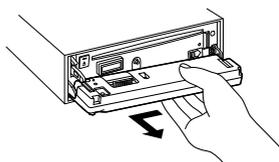
- 使用済みの電池を廃棄する場合は、プラス、マイナス端子にテープを貼るなどして絶縁状態にしてから、各地方自治体の指示に従って廃棄してください。導電性のある金属片などと一緒に廃棄するとショートを起こし、破裂、発火による火災、けがの原因となることがあります。

本機を盗難から守るために

本機は、盗難防止のため、操作パネル部分を取り外すことができます。
お車から離れる際は、操作パネルを本機から取り外して携帯していただくことをおすすめします。

操作パネルを取り外す

- 1** リリースボタンを押す
電源がオフになり、パネルが
手前に倒れます。
- 2** パネルを左側に引いてから
手前に動かす
パネルが取り外せます。

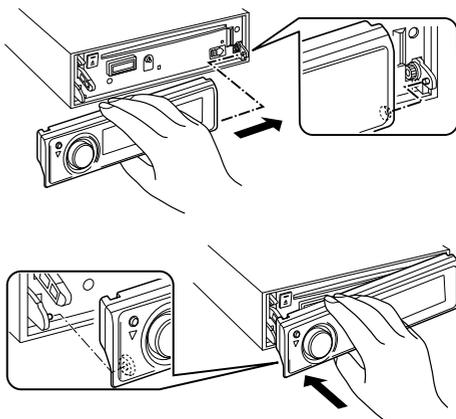


MEMO

- パネルは精密な部品のため、振動や落下などの衝撃により損傷する場合があります。取り外したパネルは、大切に保管してください。
- 取り外したパネルは、以下のような場所で保管しないでください。
 - 直射日光のあたる場所
 - 湿度が高い場所
 - ほこりのかかる場所

操作パネルを取り付ける

- 1** パネルのくぼみを本体右側の軸と
合わせる
- 2** カチッという音がするまでパネル
を押す
パネルがロックされ、本機が使用でき
ようになります。



困ったときに

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置
操作ボタンを押しても動作しない	システムに異常が発生している。	リセットボタン (P.76)を押してください。
チューナーの感度が悪い	自動車のアンテナが伸びていない。	アンテナを十分に伸ばしてください。
	アンテナコントロール電源が接続されていない。	「配線をしましょう」(P.82)を参照して、正しく接続し直してください。
	アンテナ入力がきちんと接続されていない。	アンテナ入力を確実に接続してください。
ディスクが取り出せない	ディスクが排出の途中で止まっている。	ディスクが完全に排出されるまでイジェクトボタンを押し続けてください。
	車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。	ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。
CDやオーディオファイルを再生できない	ディスクが異常に汚れている。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	初期設定の“Forced CD-DA”項目を“2”に設定している。	「初期設定を変更しよう」(P.68)を見て、“Forced CD-DA”項目を“1”に設定してください。
オーディオファイル再生中に音飛びする	ディスクに傷や汚れがある。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスク作成時に問題があった。	ディスクを作成し直すか、ほかのディスクを使用してください。
フォルダ検索をすると雑音が出る	オーディオファイルが入っていないフォルダが連続して存在すると雑音が出る場合があります。	オーディオファイルが入っていないフォルダは作成しないでください。
オーディオファイルの曲がスキップする	対応していないオーディオファイルを再生した。	www.kenwood.com/audiofile/ を参照して、本機で再生できるオーディオファイルに変換してください。
演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない	オーディオファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—
iPodでの「ソングス」の曲数と本機での「ソングス」の曲数が違う	本機にiPodを接続すると、「ソングス」ではポッドキャストファイルは再生されません。	故障ではありません。

症状	原因	処置
USB機器を認識しない、またはUSB機器のオーディオファイルの音が出なくなった	USBコネクタが抜けている。	USB機器やUSBケーブルのコネクタを確実に接続してください。
ハンズフリー通話の受信音声小さい	ハンズフリー通話用の音量が小さくなっている。	ハンズフリー通話用のボリュームは独立しています。ハンズフリー通話中に音量を調節してください。
リアスピーカーから音が出ない	Bluetooth機器を使用している。 Bluetooth HF/Audioが“Front”に設定されている。	Bluetooth HF/Audioを“All”に設定すると、Bluetooth機器を使用中もリアスピーカーから音が出ます。
着信時に呼び出し音が鳴らない	携帯電話によっては着信音が鳴らない場合があります。	着信呼出のビープ音設定 (P.63) をオンに設定すると着信をビープ音でお知らせします。
音声を認識しない	車両の窓を開けている。	周囲の雑音が大きいと認識しづらくなります。車両の窓を閉めて雑音を少なくしてください。
	音声小さい。	音声小さいと認識しづらくなります。マイクに向かって、少し大きめに自然な発声で話してください。
	登録した人以外の方がボイスタグを発声している。	ボイスタグを登録した本人だけの音声を認識できます。
Bluetoothオーディオプレーヤーが登録 (ペアリング) できない	PINコードが固定されている。	Bluetoothオーディオプレーヤーの説明書にPINコードが記載されている場合は、「PINコードを登録する」(P.68) で設定してから登録してください。または、PINコードの指定がない場合は「0000」を試してください。
Bluetoothオーディオプレーヤーの音声が途切れる	本機とオーディオプレーヤーの距離が離れている。	オーディオプレーヤーを本機に近づけてください。
	他のBluetooth機器が通信を妨げている。	他のBluetooth機器の電源を切ってください。または他のBluetooth機器を遠ざけてください。
	他のBluetooth機器、または他のプロファイルで通信を行っている。	電話帳やSMSのダウンロードを行うと音声が途切れることがあります。
接続したTVユニットでUSB音源に切り替えても、USBの表示・音声案内をしない	TVユニットなどでは、USB音源はCDとして認識されるため、CDの表示・音声案内がされている。	CD、USB音源で切り替えたときは、表示は変わらず音声案内もされません。

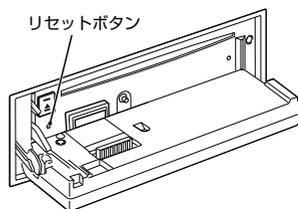
困ったときに

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「故障かな?と思ったら」(P.74)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、P.73を参照して操作パネルを取り外し、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。

リセットボタンを押しても正常に戻らないときや、下記のような場合は、本機の電源を切り、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

- ディスクが取り出せない。
- ディスクを正しく入れ直してもインジケーターの点滅が続く。
- ディスクチェンジャーを接続しているのにディスクチェンジャーモードにならずに「AUX EXT」と表示される。
- KCA-S220A、CA-C1AX/CA-C2AXが接続されていないときに「AUX EXT」と表示される。



こんなメッセージが表示されたら…

操作ができない場合のメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
TOC Error :	ディスクが異常に汚れています。	「お気をつけください」(P.13)を参照して、ディスクをクリーニングしてください。
	ディスクに傷が多く付いています。	傷のあるディスクはご使用にならないください。
	ディスクが裏返しになっています。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
	ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていません。	ディスクを入れてください。
Error 05 :	ディスクの読み込みができません。	ディスクを正しい向きで挿入し直してください。
Read Error :	接続しているUSB機器またはiPodのファイルシステムが破損しています。	USB機器 / iPodのファイル、フォルダをコピーし直してください。 それでもエラー表示が消えない場合は、USB機器 / iPodをフォーマットするか、他のUSB機器 / iPodを使用してください。
Unsupported File :	サポートされていないフォーマットのオーディオファイルを再生しようとしてしました。	本機でサポートされているフォーマットのオーディオファイルをご使用ください。
Copy Protection :	再生しようとしたオーディオファイルは、コピープロテクトされています。	ファイルのコピープロテクトを解除してください。

メッセージ	原因	処置
Eject :	ディスクマガジンがセットされていません。	ディスクマガジンをセットしてください。
	ディスクマガジンが完全に入っていません。	ディスクマガジンを奥まで入れてください。
Err No Matching :	ボイスタグが異なる、登録されていないなどで認識できません。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.65)を参照して、登録したボイスタグを確認してください。
Too Long :	単語または発話が多すぎて認識できません。	もっと短く発話してください。
Too Loud :	声が大きすぎて認識できません。	もっと小さな声で発話してください。
Too Soft :	声が小さすぎて認識できません。	もっと大きな声で発話してください。
Memory Full :	電話帳に登録できるボイスタグの件数を超えました。登録できる件数は35件までです。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.65)を参照して、不要なボイスタグを削除してください。
HF Disconnect :	携帯電話と通信できません。	他の携帯電話が通信を妨げている可能性がある場合、他の携帯電話の電源を切るか遠ざけてください。
HF Error 07 :	メモリーにアクセスできません。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機のリセットボタン (P.76) を押してください。
HF Error 68 :	携帯電話と通信できません。	本機の電源をオフ/オンします。表示が出続ける場合は本機のリセットボタン (P.76) を押してください。
Un known :	Bluetooth機器を検出できません。	場所を移動してから Bluetooth機器の検索を行ってください。

本機のシステムに不具合があるときや操作が受け付けられないときのメッセージです。以下の処置にしたがって対応してください。

メッセージ	原因	処置
ERROR 77/ Mecha Error :	何らかの原因で正常に動作していません。	本機のリセットボタン (P.76) を押してください。それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
ERROR 99 :	ディスクマガジンが故障している、または何らかの原因で正常に動作していません。	ディスクマガジンを確認してください。表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.76) を押してください。上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

困ったときに

メッセージ	原因	処置
CD-IN (点滅) :	CDプレーヤーが正常に動作していません。	CDを一度取り出してから、再度挿入してください。それでも表示が消えないときは本機のリセットボタン (P.76) を押してください。上記の処置を施しても表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Reading :	ディスクに収録されているデータのチェック中です。	チェックが終われば正常に作動します。
Protect (点滅) :	スピーカーコードがショートまたは車両のシャーシに接触したために、保護回路が働きました。	スピーカーコードを適切に配線/絶縁しなおしてから、本機のリセットボタン (P.76) を押してください。それでも表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
Hold Error :	ディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になったため、保護回路が働き、動作しなくなっています。	本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。
Load :	ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。	交換が終われば正常に作動します。
No Device :	USB機器 / iPodが接続されていないときに、音源をUSB / iPodに切り替えました。	USB / iPod以外の音源に変えてください。その後、USB機器 / iPodを接続し、再度音源をUSB / iPodにしてください。
N/A Device :	サポートされていないUSB機器 / iPodを接続しました。 iPodの接続に失敗しました。	接続したUSB機器 / iPodがサポートされているか確認してください。サポートされているUSB機器 / iPodについては、「本機で使えるメディアとオーディオファイル」(P.21)、「iPodについて」(P.26)を参照してください。
No Music Data/Error 15 :	接続されているUSB機器 / iPodには、再生できるフォーマットのオーディオファイルがありません。	再生可能なフォーマットのオーディオファイルが入ったUSB機器 / iPodを接続してください。
USB ERROR :	接続されているUSB機器 / iPodに不具合が発生した可能性があります。	USB機器 / iPodを取り外し、電源をオフにした後、再度オンにしてください。それでも表示が消えない場合は、他のUSB機器 / iPodをお使いください。
iPod Error :	iPodとの接続に不具合が発生しています。	「iPodについて」(P.26)を参照して、接続しているiPodが本機で使えるiPodかどうか確認してください。 iPodをiPod接続ケーブルから取り外し、接続し直してください。 iPodのソフトウェアを最新のものにアップデートしてから接続してください。

メッセージ	原因	処置
USB REMOVE (点滅) :	USB機器 / iPodの取り外しモードになっています。	USB機器 / iPodは、安全に取り外すことができます。
Favorite: No Memory :	お気に入り (FAVORITEコントロール) に登録されていません。	機能を登録してから呼び出してください。
No Access :	FAVORITEコントロールに登録した操作ができません。(iPod操作を呼び出してからiPodを取り外したときなど)	iPodを接続してから機能呼び出してください。
No Voice :	着信はありません。	着信があれば表示は消えます。
Connect NG :	Bluetooth機器に接続できません。	接続を確認してください。
Device Full :	すでにBluetooth機器が5台登録されておりこれ以上登録できません。	「Bluetooth機器の登録を削除する」(P.67) を参照して、デバイスを削除してください。
No Data :	発信履歴がありません。 着信履歴がありません。 不在着信履歴がありません。 電話帳にデータがありません。	履歴があればエラーメッセージは表示されません。
No Entry :	携帯電話を機器登録 (ペアリング) していません。	「Bluetooth機器を登録する」(P.41) を参照して、携帯電話を登録してください。
No Number :	電話番号の通知がない着信時に表示します。 電話番号のデータがない時に表示します。	電話番号の通知がある着信時は、エラーメッセージは表示されません。 電話番号のデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。
No Message :	SMSのデータがありません。	SMSのデータがある時は、エラーメッセージは表示されません。
No Phonebook :	電話帳にデータがありません。	「電話帳をダウンロードする」(P.43) を参照して、電話帳のデータを本機にダウンロードしてください。
No Record :	電話帳にボイスタグが登録されていません。	「電話帳にボイスタグを設定する」(P.65) を参照して、電話帳にボイスタグを登録してください。
Pairing Failed :	ペアリングエラーです。	「『KCA-BT200』で使える携帯電話」(P.40) を参照して、対応する機器か確認してください。
PIN Code NG :	PINコードが違います。	PINコードを確認してください。

本機を取り付けるときは

必ずお読みください

警告



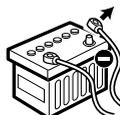
禁止

- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V ⊖ アース車専用です。



実施

- 配線作業中は、バッテリーの ⊖ 端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



- 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



- 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



- バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

- 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。

警告



実施

- 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



禁止

- 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

- コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。



- アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



注意

- 車体に穴を開けて取り付けの際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



- 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

- 本製品は自動車のコンソールに設置してください。本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

本機を取り付けるときは

配線をしましょう

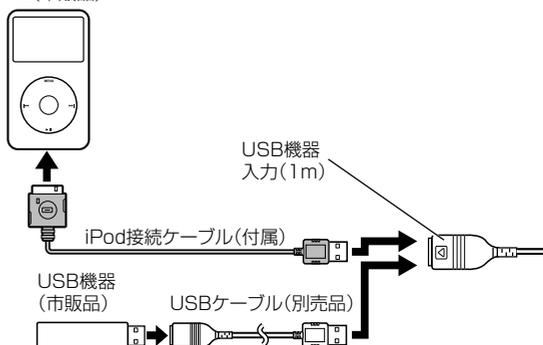


実施

初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

1. エンジンキーを抜きます。
2. 各セットの入出力コードを確かめて接続します。
3. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
4. 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
5. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
6. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
7. 電源をオンします。
8. 本機のリセットボタン(P.76)を押します。

iPod(市販品)

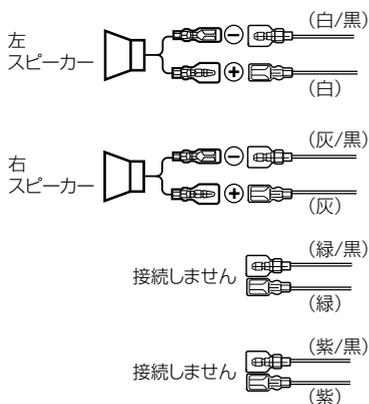


※USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX(別売品)の使用を推奨します。
USBケーブルを接続しないときは、キャップを外さないでください。コネクター部が車の金属部分に接触すると、本機の誤動作の原因になります。

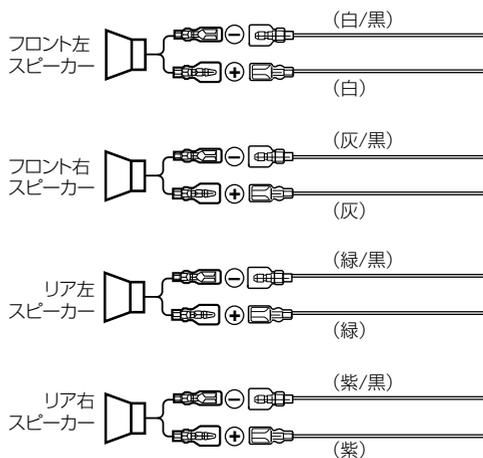
MEMO

- ・ AUX入力に接続するミニプラグケーブルは抵抗の入っていないステレオタイプのものを使用してください。
- ・ ナビゲーションシステムの音声出力は、AUX入力に接続します。

2スピーカー時のスピーカー接続方法



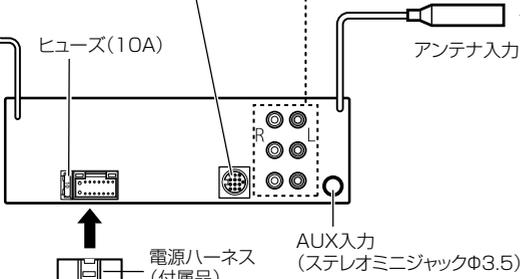
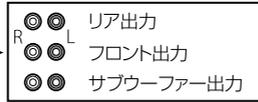
接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。



- ・ スピーカーコードの⊕(+)端子を車のシャシなどに接触させないでください。
- ・ 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

本機を取り付けるときは

外部機器接続端子
別売品のディスクチェンジャー
やLX-BUS製品などが接続で
きます。詳しい接続のしかたは
接続する機器の取扱説明書を
ご覧ください。



MEMO

- ・別売品のディスクチェンジャーにO-Nスイッチが付いている場合は、「N」に設定してください。
- ・別売品のKCA-S220Aを接続する場合は、KCA-S220A付属の取扱説明書で「ユニット」項目を参照してください。

電源ハーネス (付属品)

アンテナコントロール(青)

ANT CONT

オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのプー
スターアンプの電源端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

パワーコントロール(青/白)

P.CONT

別売パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。
接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。



注意

ミュート入力(茶)をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作
する場合があります。誤動作する場合は、P.55の“NAV Guide”を“OFF”に設定してくだ
さい。

ミュート入力(茶)

MUTE

ナビゲーションシステムのミュート端子に接続してください。

イルミネーション(橙/白)

ILLUMI

車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

ステアリングリモートコントロール(水色/黄)

REMOTE
CONT

接続しません。



注意

ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、ヒューズに表示され
ている容量(アンペア数)の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒュー
ズを使用すると、火災の原因になります。

アクセサリ電源(赤) ⊕

エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。

ACC

バッテリー電源(黄) ⊕

メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係
なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

BATT

アース(黒) ⊖

車の金属部分(バッテリーのマイナス側と導通しているシャ
シなどの一部)へ接続してください。

アクセサリ電源

エンジン
キー

ACC

ヒューズ

バッテリー電源

BATT

メインヒューズ

バッテリー

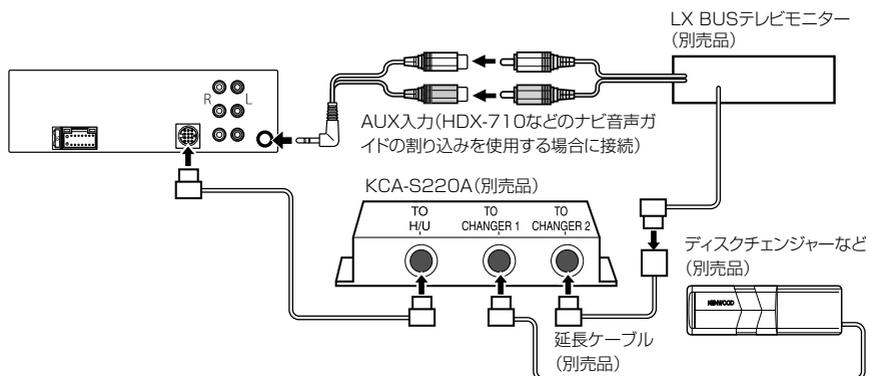
アース

バッテリー

本機を取り付けるときは

KCA-S220A (別売品) を使ってLX BUS テレビモニターを接続する場合

- LX BUS テレビモニターは、KCA-S220Aの「TO CHANGER2」端子に接続してください。
- HDX-710などでナビ音声ガイドの割り込みを行う場合は「**好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)**」(P.54)の「NAV Guide」項目を「INT」にして、LX BUSケーブルを接続してください。



取り付けましょう

本機を車両ブラケットに取り付ける手順をご紹介します。

使用するのは、付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を4本です。

MEMO

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

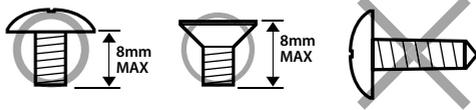


● 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。

また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

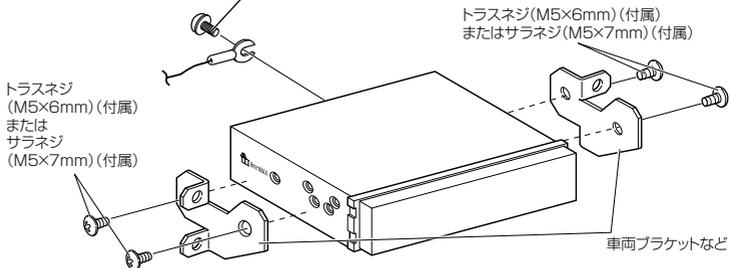
なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



本機に付属しているネジ

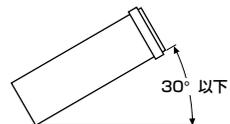
-  トラスネジ (M5×6 mm) × 4
-  サラネジ (M5×7 mm) × 4
-  セムスネジ (M4×8 mm) × 1

セムスネジ (M4×8mm) (付属)
※別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



- 本機取り付け角度は30°以下になるように取り付けてください。30°以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。

- 操作パネルを持って取り付け/取り外しをしないでください。破損することがあります。



仕様

FMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
76.0 MHz ~ 90.0 MHz (100 kHz)
実用感度 (S/N : 30 dB) :
9.3 dBf (0.8 μ V/75 Ω)
S/N 50 dB感度 :
15.2 dBf (1.6 μ V/75 Ω)
周波数特性 (± 3.0 dB) : 30 Hz ~ 15 kHz
S/N比 : 70 dB (MONO)
選択度 (± 400 kHz) : 80 dB以上
ステレオセパレーション : 40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲 (周波数ステップ) :
522 kHz ~ 1629 kHz (9 kHz)
感度 (S/N 20 dB) :
28 dB μ (25 μ V)

CDプレーヤー部

レーザーダイオード : GaAlAs
デジタルフィルター :
8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター : 24 Bit
回転数 (オーディオフィール) :
500 ~ 200 rpm (線速度一定)
ワウ&フラッター : 測定限界以下
周波数特性 : 10 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)
高調波歪み率 : 0.008 % (1 kHz)
S/N比 : 110 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ : 93 dB
MP3デコード :
MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード :
Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード : AAC-LC “.m4a” ファイル

USB I/F部

USB規格 : USB 1.1/2.0 (Full speed対応)
ファイルシステム : FAT16/32
最大供給電流 : 500 mA
MP3デコード : MPEG-1/2 Audio Layer-3準拠
WMAデコード : Windows Media™ Audio 準拠
AACデコード : AAC-LC形式 “.m4a” ファイル

オーディオ部

最大出力 : 50 W \times 4
定格出力 : 30 W \times 4 (4 Ω , 1kHz, 10%THD以下)
スピーカーインピーダンス : 4 ~ 8 Ω
プリアウトレベル (CD/CD-CH) :
2500 mV/10 k Ω
プリアウトインピーダンス : 600 Ω 以下
オーディオコントロール :
バンド1 60 Hz \pm 9 dB
バンド2 250 Hz \pm 9 dB
バンド3 1 kHz \pm 9 dB
バンド4 4 kHz \pm 9 dB
バンド5 16 kHz \pm 9 dB

AUX入力

周波数特性 : 20 Hz ~ 20 kHz (± 1 dB)
入力最大電圧 : 1200 mV
入力インピーダンス : 10 k Ω

電源部

電源電圧 : 14.4 V (11 ~ 16 V)
最大消費電流 : 10 A

寸法・質量

埋込寸法 (W \times H \times D) :
178 \times 50 \times 163 mm
質量 (重さ) : 1.30 kg

付属部品

電源ハーネス : 1本
トラスネジ (M5 \times 6 mm) : 4本
サラネジ (M5 \times 7 mm) : 4本
セムスネジ (M4 \times 8 mm) : 1本
リモコン : 1個
iPod接続ケーブル : 1本

MEMO

- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

用語集

AAC (エーエーシー)

正式名「Advanced Audio Coding」の略称で、デジタル放送などに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。使用できるAAC収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.21)をご覧ください。

MP3 (エムピースリー)

正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称で、DVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法の、オーディオ部分のみの圧縮規格です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.21)をご覧ください。

WMA (Windows Media™ Audio)

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。本書では主に、この方式を使用したオーディオファイルを指します。使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「**本機で使えるメディアとオーディオファイル**」(P.21)をご覧ください。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー(KDC-C520、KDC-C406など)やマルチメディアプレーヤー(VD-C77)です。

KSF (ケイエスエフ)

外部接続された別売品のHDX-710などのハードディスクに記録されている音楽ファイルです。

LX BUS TVモニター (エルエックスバステレモニター)

外部接続された別売品のテレビモニターやナビゲーションシステム(HDX-710など)です。

商標について

- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- The “AAC” logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- iPodは、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- iPhoneは、Apple Inc.の商標です。
- 「Made for iPod」とは、iPod専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

「Works with iPhone」とは、iPhone専用 に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。

アップルは、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。

保証とアフターサービス (必ずお読みください)

保証について

● 保証書

この製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

● 保証期間

お買い上げの日より1年です。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.74)を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。(「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去される場合があります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因(衝撃や水分、異物の混入など)による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。)

● 持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

● 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。(本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。)

● 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ (有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。)

● 技術料: 製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。

● 部品代: 修理に使用した部品代です。
その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道		
札幌サービスセンター	☎004-0005	札幌市厚別区厚別東5条1-2-29 ☎(011) 807-3003
東北		
仙台サービスセンター	☎984-0011	仙台市若林区六丁の目西町8-1 (斎喜センタービル) ☎(022) 288-3538
関東・信越		
さいたまサービスセンター	☎331-0812	さいたま市北区宮原町1-202 ☎(048) 778-8714
千葉サービスセンター	☎277-0863	柏市豊四季512-10-67 ☎(04) 7171-3800
横浜サービスセンター	☎226-8525	横浜市緑区白山1-16-2 ☎(045) 939-6242
新潟サービスセンター	☎950-0913	新潟市中央区鑑1-5-23 ☎(025) 245-2177
大田サービスセンター	☎146-0082	大田区池上2-8-10 プラムビル1F
<small>(修理持込専用窓口) 電話でのお問い合わせは、カスタマーサポートセンター（裏表紙をご覧ください）にて承ります。</small>		
中部・甲州		
名古屋サービスセンター	☎481-0041	北名古屋九之坪鶴田121-1 ☎(0568) 24-1644
静岡サービスセンター	☎420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1 ☎(054) 262-8700
金沢サービスセンター	☎921-8062	金沢市新保本4-65-17 ☎(076) 269-2935
近畿・四国		
大阪サービスセンター	☎532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28 ☎(06) 6390-8005
高松サービスセンター	☎761-8057	高松市田村町205-1 ☎(087) 802-6055
中国		
広島サービスセンター	☎731-0137	広島市安佐南区山本1-8-23 ☎(082) 832-2210
九州		
福岡サービスセンター	☎812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10 サンイースト福岡1F ☎(092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	☎890-0063	鹿児島市鴨池2-15-10 (パレス鴨池1F) ☎(099) 251-6347
沖縄サービスセンター	☎901-2101	浦添市西原4-36-17 ((株) 物琉2F) ☎(098) 874-9010

サービスセンターの営業時間のご案内

受付時間 10:00～18:00（土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
（各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。）

MEMO

MEMO



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
ナビダイヤル 0570-010-114（一般電話・公衆電話からは、どこからでも市内通話料金でお問い合わせが可能です）
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8960
FAX 045-450-2287
住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
（日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます）
- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My Kenwood）をお願いしています。
弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
<http://jp.my-kenwood.com>